



2021年10月26日

各位

会社名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長 森部 慎之助
(コード番号 6289 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 前田 みか
(TEL 088-846-2933)

2021年8月期 決算説明会資料に関するお知らせ

2021年8月期決算説明会資料につきまして、別紙のとおりお知らせいたします。

以上



2021年8月期 決算説明会

株式会社 技研製作所 代表取締役社長

森部 慎之助

目次

- **事業概要** P 3
- **業績の推移と2021年8月期の成果** P 6
- **前中期経営計画（2019年8月期－2021年8月期）の総括** P 9
- **中期経営計画（2022年8月期－2024年8月期）について** P 16
- **2021年8月期 決算概要** P 38
- **2022年8月期 業績予想** P 53

事業概要

1967年 公害対処企業として高知市で創業

当時は高度経済成長の真っ只中で、急速に近代国家へ躍進

一方で、建設工事による騒音と振動が社会問題化



1975年 世界で初めて

「**圧入原理**」を**実用化**した

無振動・無騒音の圧入機

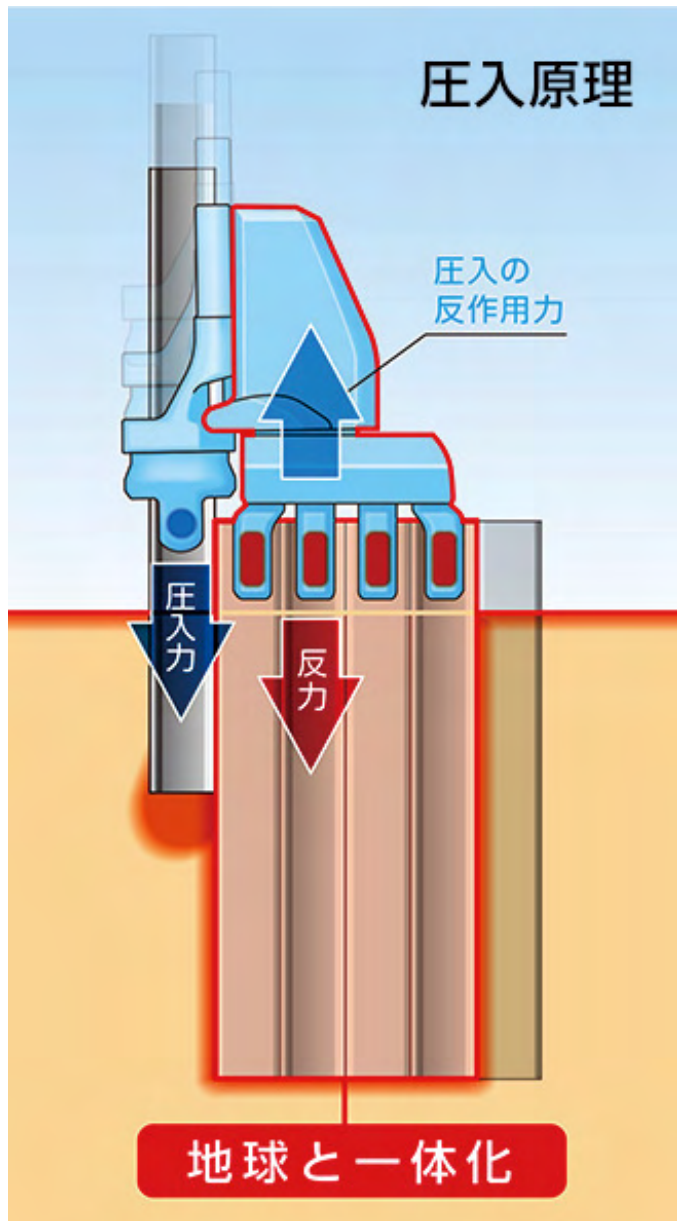
➡ 「サイレントパイラー」を**発明**

杭打ち工事の無公害化

事業基盤の**確立**



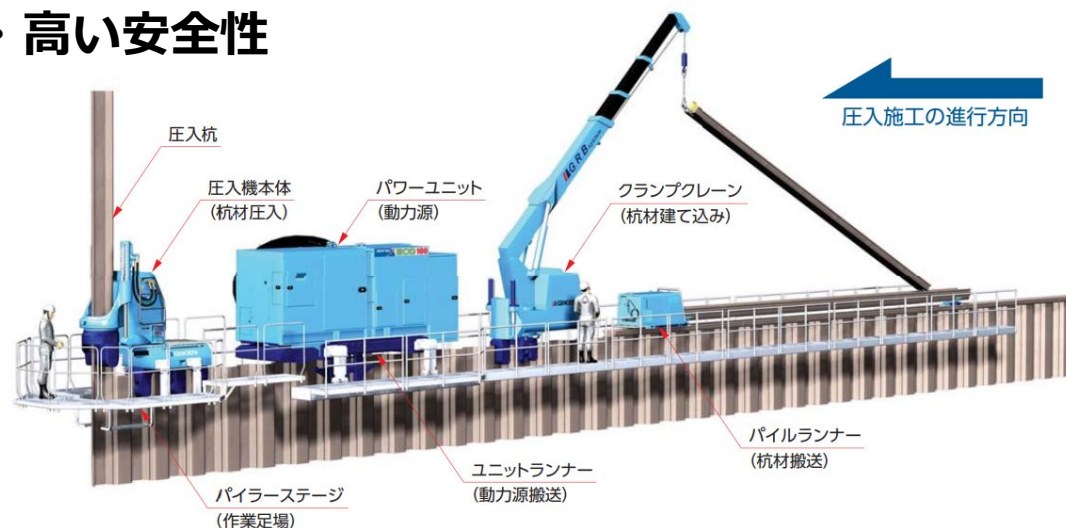
圧入原理



圧入原理とは、既に地中に押し込まれた杭を数本つかみ、その引き抜かれまいとする抵抗力を反力とし、油圧による静荷重で次の杭を地中に押し込んでいく施工原理である。

圧入原理の優位性

- ・ 無振動・無騒音
- ・ 省スペース施工で経済活動を阻害しない
- ・ 仮設レス施工により、工期・工費の縮減、CO₂の排出量を削減
- ・ 高精度施工
- ・ 高い安全性

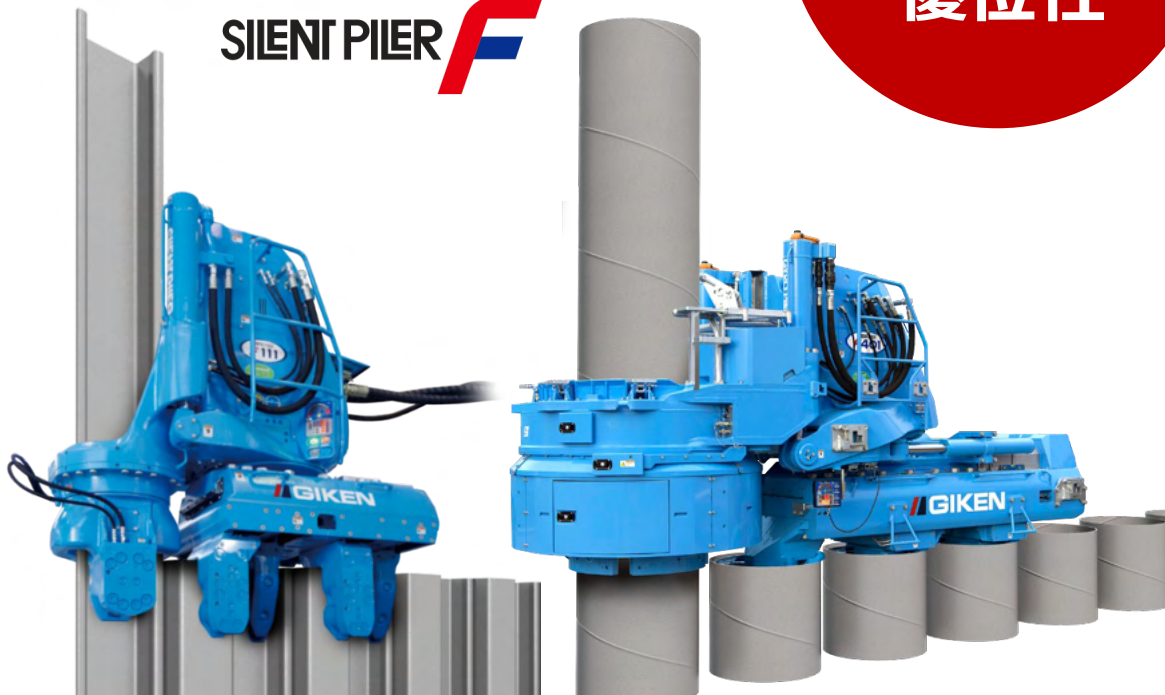


圧入原理の優位性を基軸にした開発型企业

建設機械事業

無公害杭圧入引抜機
サイレントパイラー

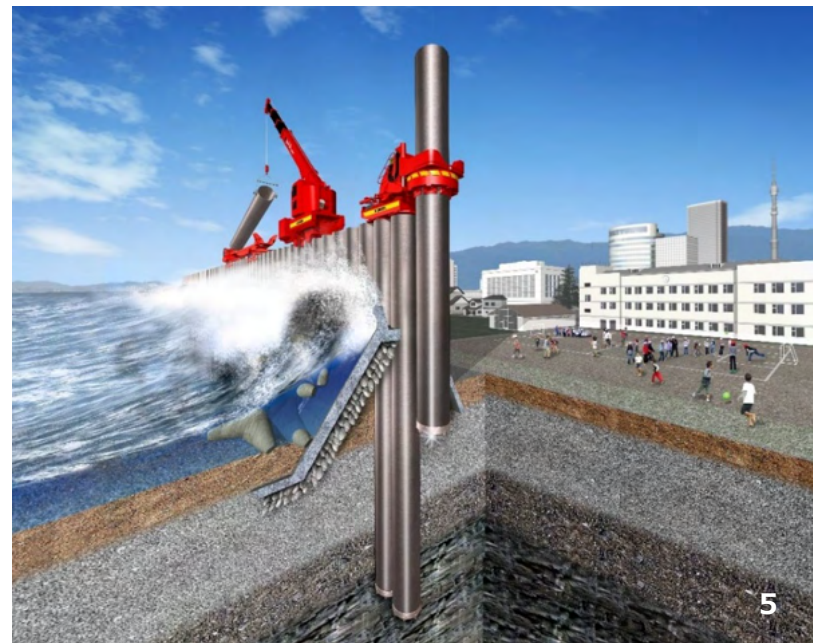
SIENTPIER **F**



圧入原理の
優位性

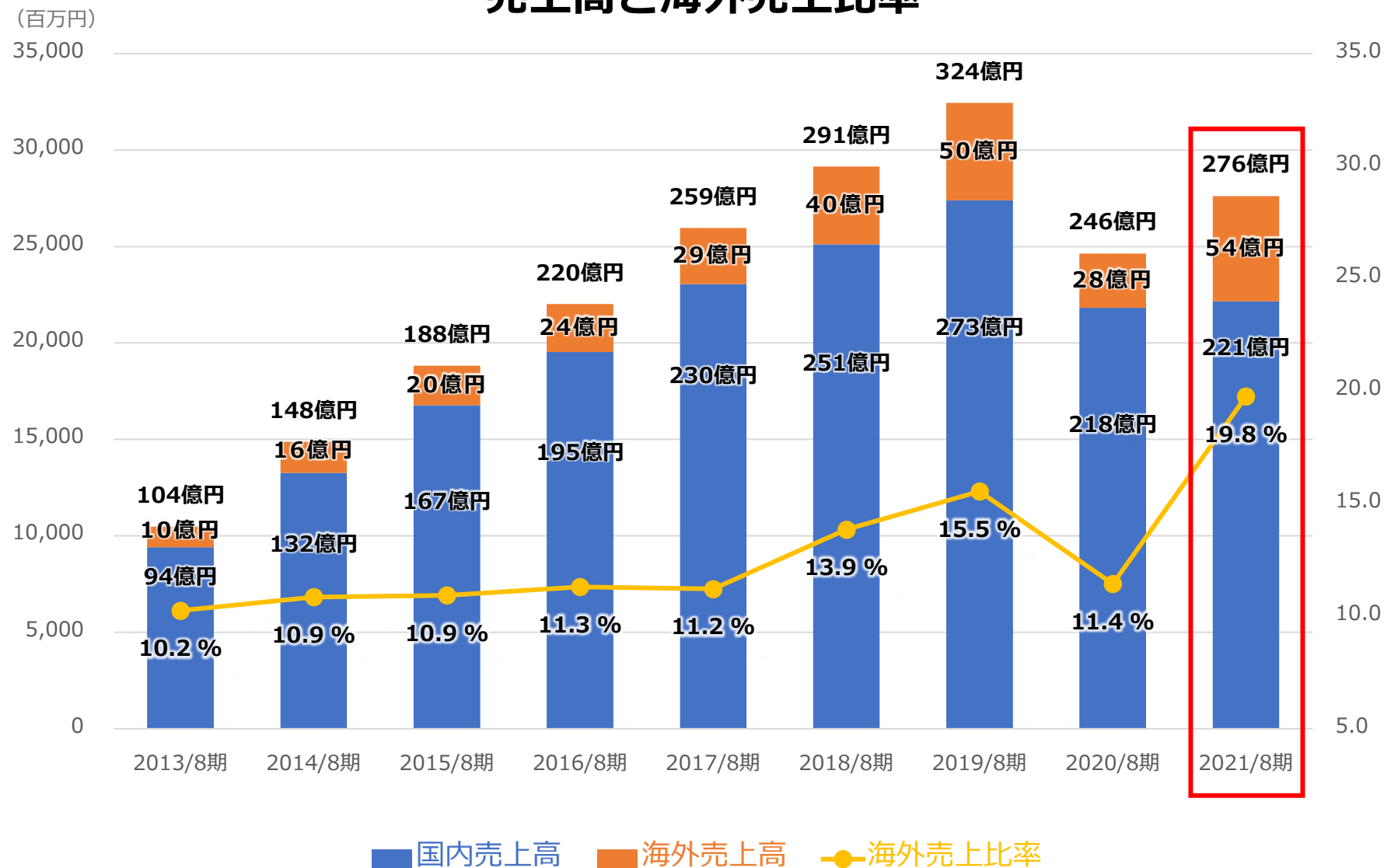
圧入工事事業

防災・減災、都市再生
インプラント工法



業績の推移と2021年8月期の成果

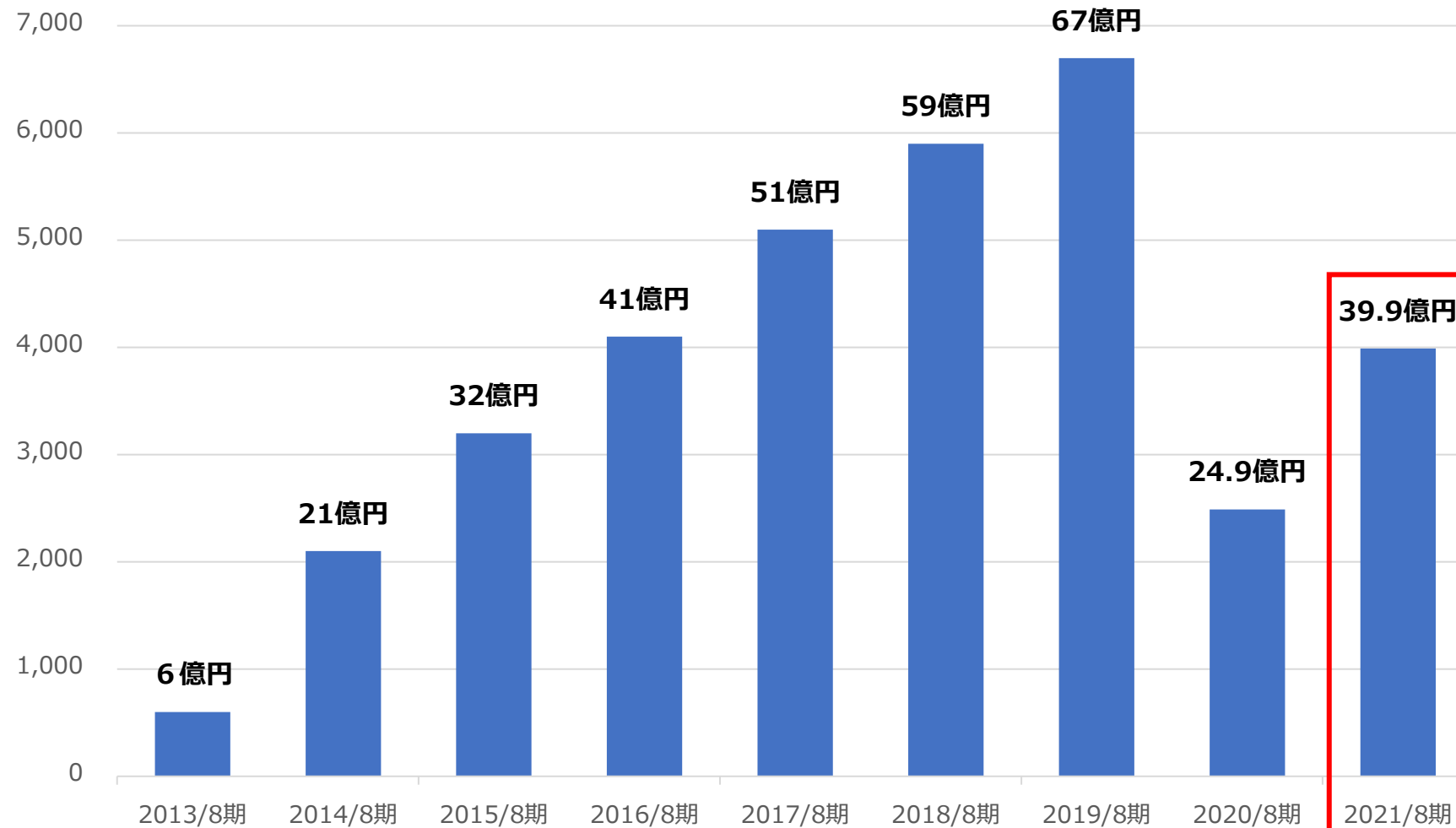
売上高と海外売上比率



業績の推移と2021年8月期の成果

営業利益

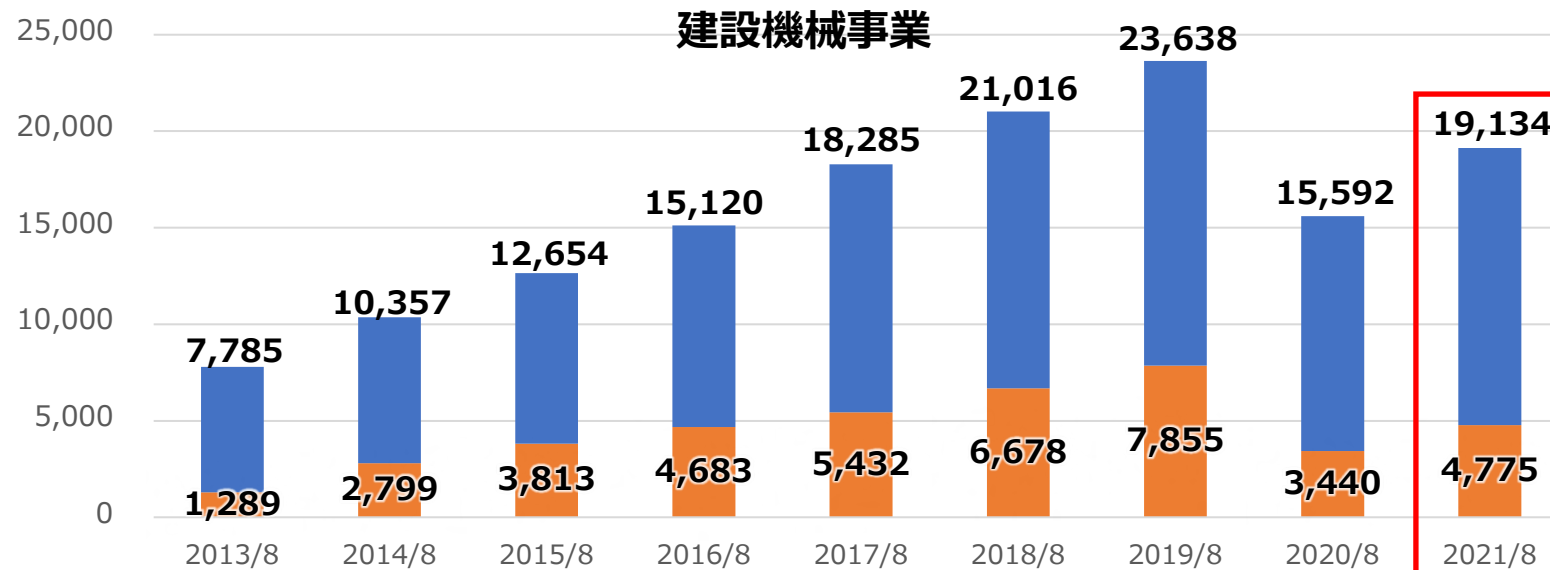
(百万円)



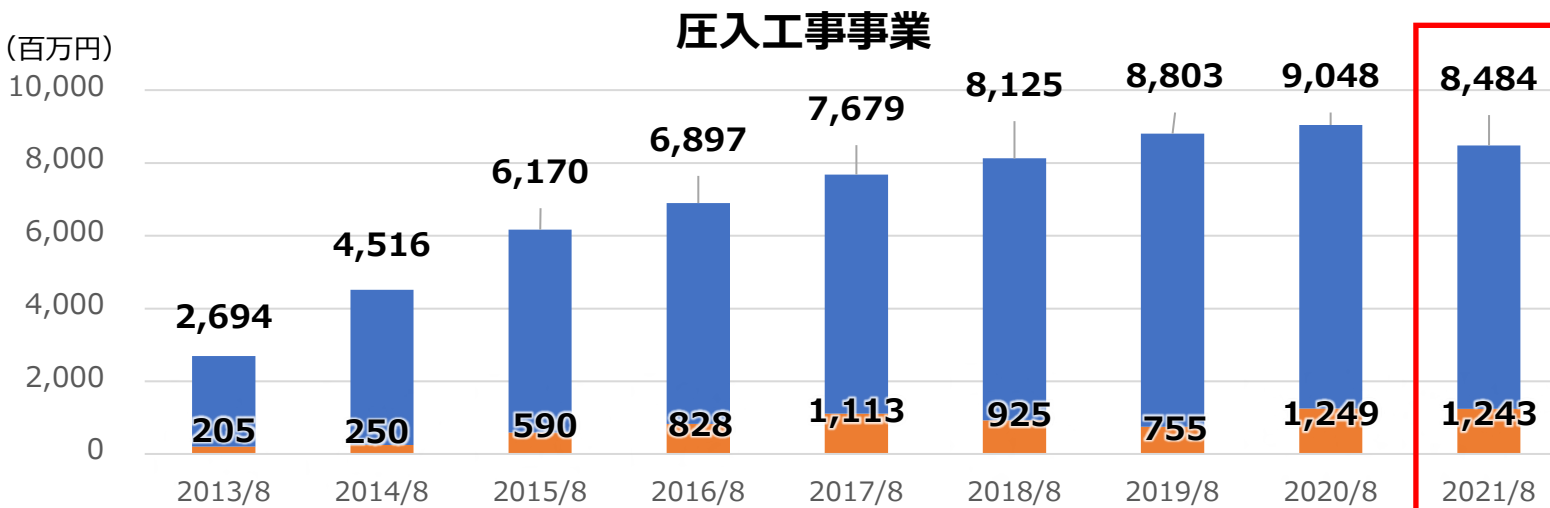
業績の推移と2021年8月期の成果

＜セグメント別＞ ■ セグメント売上高 ■ セグメント利益

(百万円)



(百万円)



①インプラント工法®の普及拡大＜国内＞

「防災・減災」技術としての適用範囲拡大

道路供用を維持しつつ崩落道路を復旧

（長野県）

2018年8月～2018年11月

国道19号での緊急を要する災害復旧工事



スキップロック工法®による

地すべり抑止杭（長崎県）

2017年7月～2020年7月

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）沿線



①インプラント工法®の普及拡大〈国内〉

「防災・減災」技術としての適用範囲拡大

清水港 岸壁改良工事

（静岡県）

2020年1月～3月

スキップロック仕様のパイラーにて岸壁改修工事における控え杭を構築



球磨川での熊本豪雨（2020年）からの復旧工事（熊本県）

2021年6月～ 施工中

崩落した法面の狭隘地で、片側交通を確保しながらジャイロパイラー2台で同時施工



①インプラント工法®の普及拡大＜海外＞

オランダ世界遺産の運河護岸改修で技術開発連携協定



応募16グループ中で最高評価
2020年契約

2021年、G-Kracht B.V.（ジークラフト）を設立し、
2022年1月から実証施工開始。

2023年から8年間の「商業化フェーズ」で計3,300m区間の
工事受注が保証。その後、標準工法に採用される予定

①インプラント工法®の普及拡大 <海外>

「質の高い本邦技術」としてODA案件での採用も拡大



ダカール港岸壁改修 (ODA)
(セネガル) 2019年9月～2021年3月

「ジャイロプレス工法」の採用

JICAの高い評価。土木学会等でも論文発表



病院施設建設工事 (ODA)
(エジプト) 2019年

「ゼロクリアランス工法」の採用



①インプラント工法®の普及拡大＜海外＞

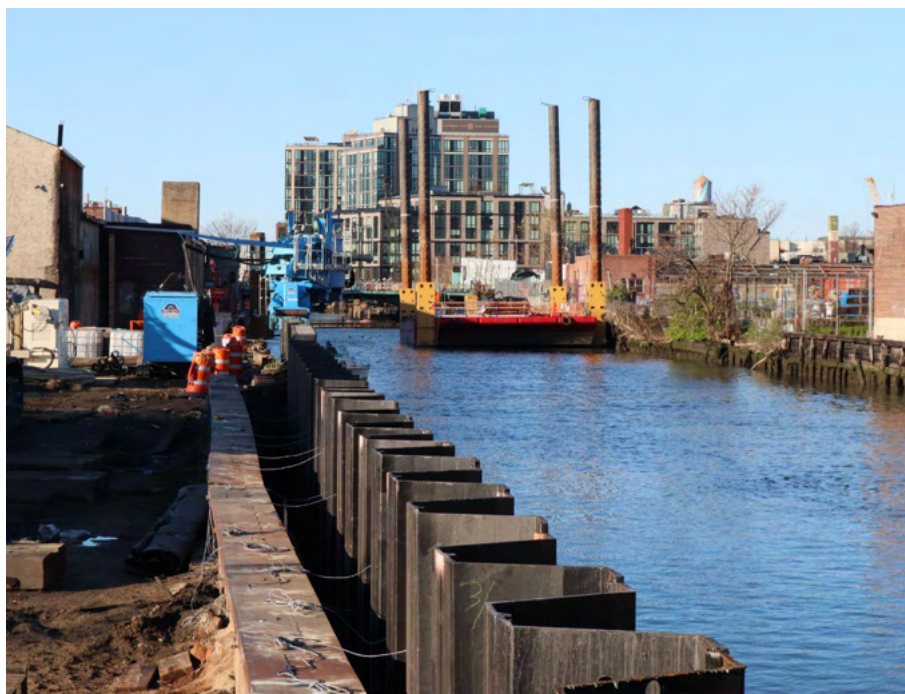
圧入の優位性を発揮する案件での採用拡大



ゴワヌス運河護岸改修

（アメリカ）2020年

「全米で最も汚染された運河の一つ」
護岸の老朽化対策、河川への汚染水流入防止



鉄道盛土の補強工事

（ドイツ）2021年

住宅街と鉄道に挟まれた狭隘地で、住民生活や列車
運行に影響を与えることなく完工

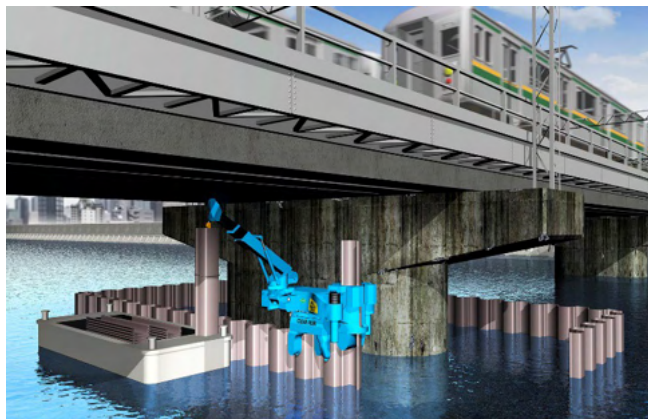


②企業体制強化と開発の拡大

老朽化したインフラの更新需要拡大を見据えた製品の投入

超低空頭圧入機の開発・販売 (CLW100・CLP200A)

橋梁の洗堀対策強化や「JR河川橋梁対策検討会」の開催を見越しての製品投入



スマートパイラー®の開発・販売 (SX-1)

U形400mm幅専用のフラッグシップモデル。
大幅な高速化・軽量化・自動化により、建築現場など市街地、狭隘地での生産性を向上

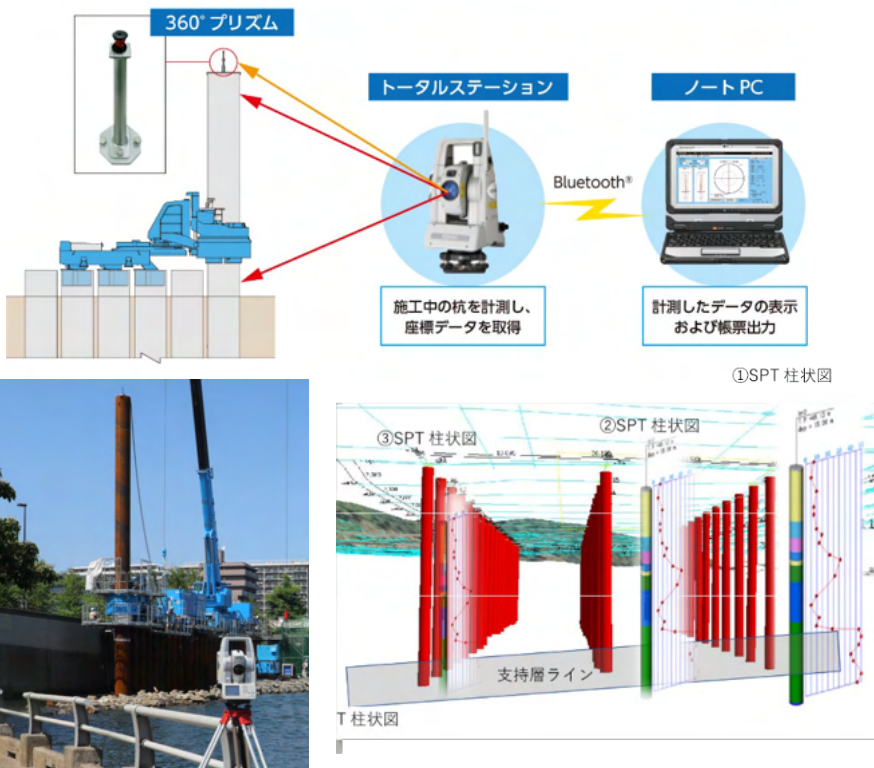


②企業体制強化と開発の拡大

人材不足、生産性向上のためICT施工技術の開発を加速し、販売を開始

インプラントNAVI®

杭精度管理 / 出来形資料の自動作成
3次元モデルで構造物を“見える化”



PPTシステム®

地盤情報の推定から圧入施工まで自動化

【PPTシステムの効果】

- 施工時間の短縮
- 人材不足への対応
- 施工実績の品質証明



『中期経営計画 (2022年8月期-2024年8月期) 』

10月11日発表

- **GIKENの使命**
- **経営方針と長期ビジョン**
- **基本戦略の概要**
- **サステナブルな社会への貢献**
- **数値計画**



GIKENの使命 『工法革命』

建設業界を科学で精査し、**建設工事のあるべき姿**を実現する

“**圧入業界**”をさらに拡大

圧入業界

無公害工法である「圧入工法」により、

- ・ 国民の視点に立った基準 **建設の五大原則** を遵守
- ・ 自然災害に粘り強く耐える**インプラント**構造物を構築
- ・ 社会の変化に柔軟に対応できる **機能構造物** を提供



経営方針

インプラント工法で世界の建設を変える

長期
ビジョン

事業方針

インプラント工法のパッケージ化によるグローバル展開

- ・ 建設をグランドデザインするグローバル・エンジニアリング企業になる
（海外売上比率を全体の7割とする）
- ・ 高収益企業（賢い企業）体質を確立する

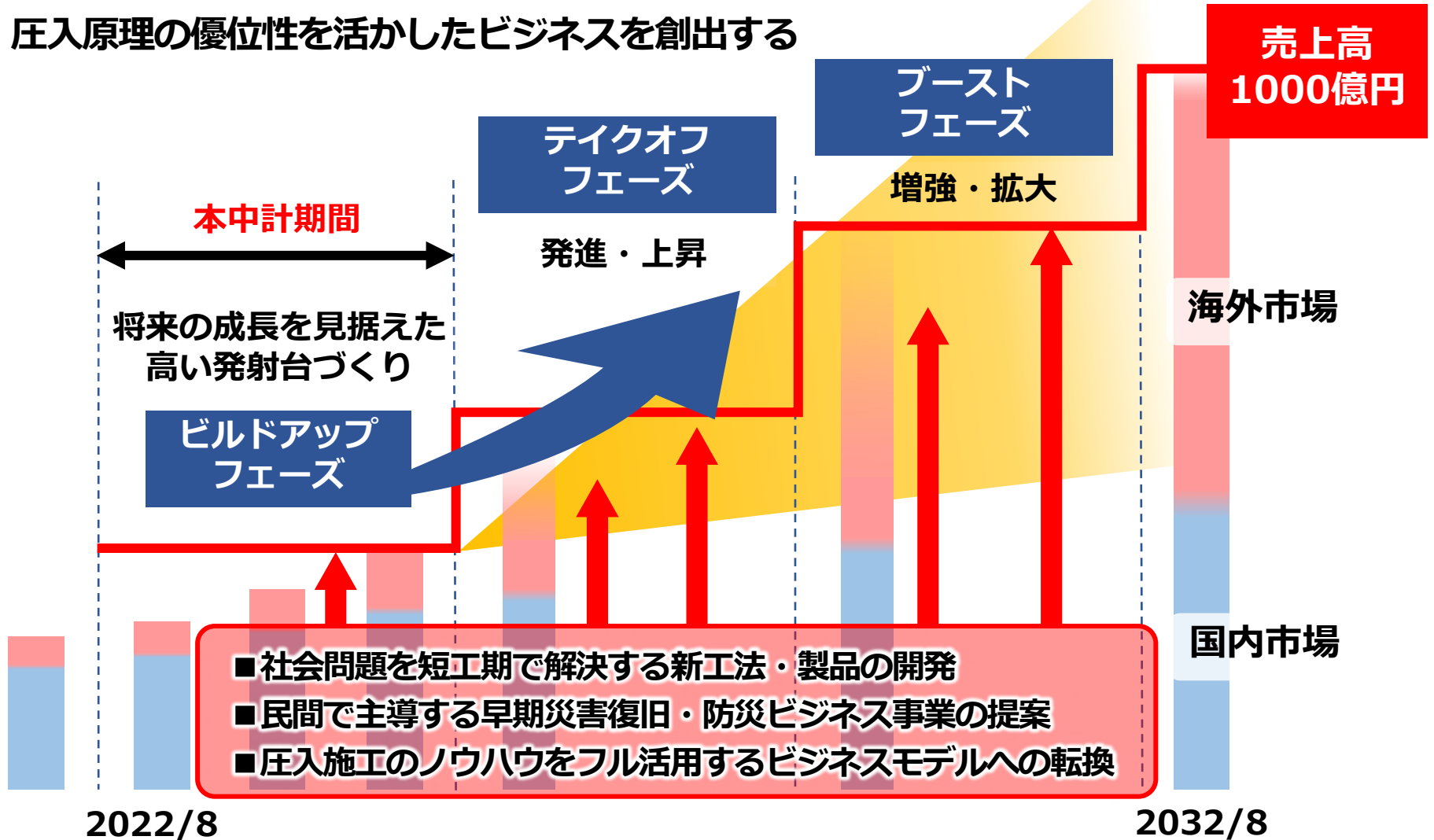
中期
経営
計画

基本戦略／2022.8-2024.8

- ① インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開
- ② 付加価値の高い工法・製品を開発し社会にソリューションを提供

10年後1000億円を目標として飛躍的な発展を目指す

既存ビジネスの延長ではなく、創意工夫し新しい手法を世界に提案して
圧入原理の優位性を活かしたビジネスを創出する



基本戦略／2022.8-2024.8月期

① インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開

- （1）適用範囲の更なる拡大
- （2）「圧入原理の優位性」に特化した技術提案
- （3）圧入原理の優位性を見てわかる提案へ進化
- （4）パートナーシップによるグローバル展開

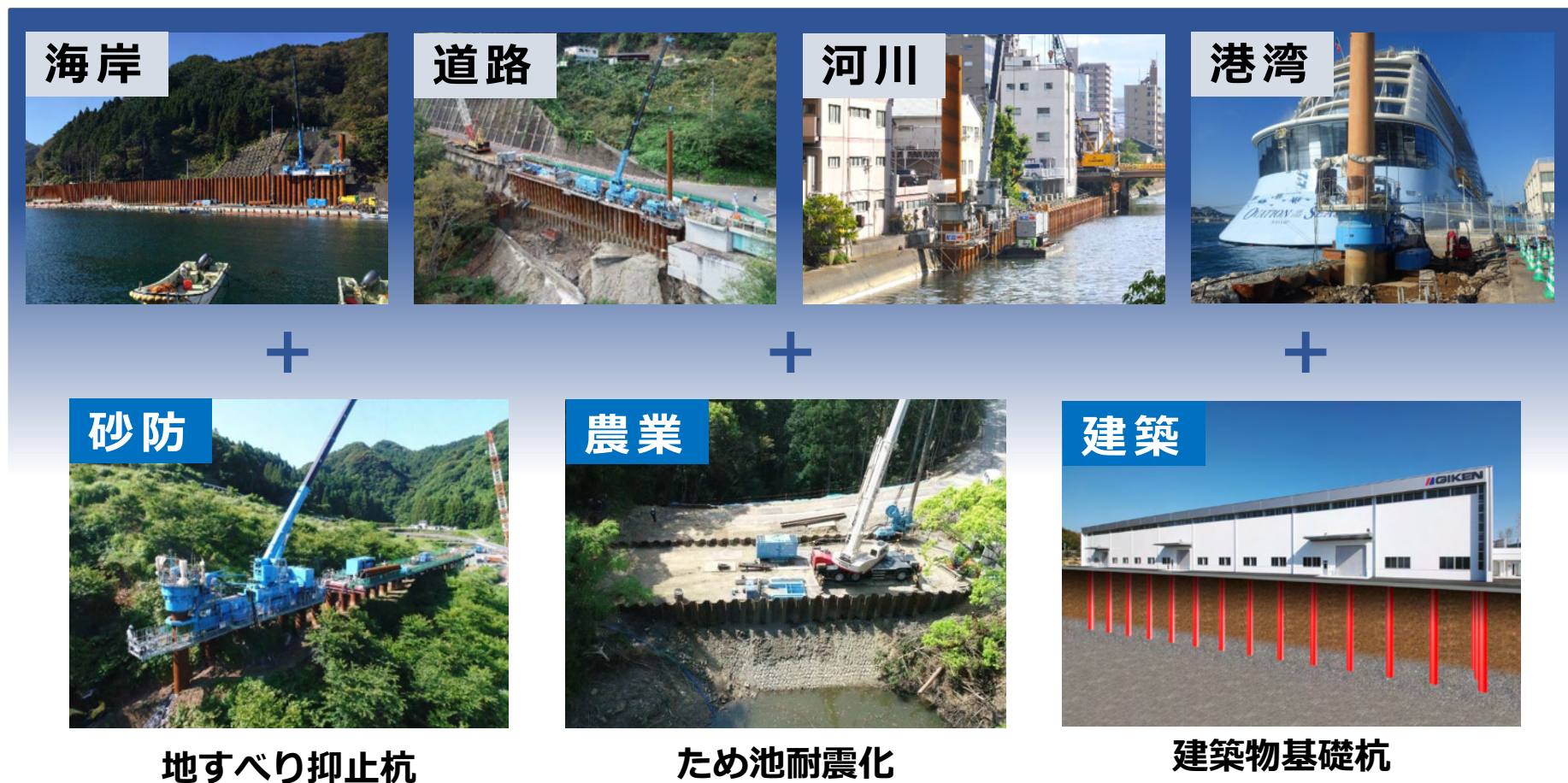
② 付加価値の高い工法・製品を開発し社会にソリューションを提供

- （1）付加価値による差別化
- （2）持続可能な社会の実現を果たす開発
- （3）賢いものづくり体制

①インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開

(1) 適用範囲の更なる拡大

防災主体からすべてのインフラ整備に適用範囲を拡大させる



適用事例

民間主導の防災対策への参入

佐賀県
2020年3月

工場の油流出防止のため
の遮水壁構築



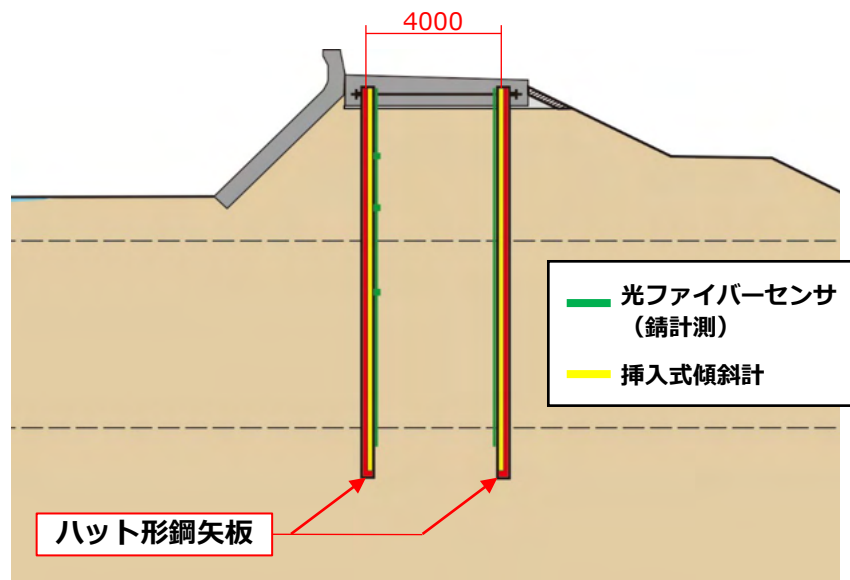
今年の豪雨では被害を防いだ



適用事例

「土堤原則」の転換に向けた実績の拡大

神経構造物で性能を証明 2021年9月～施工中



①インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開

(2) 「圧入原理の優位性」に特化した技術提案

「圧入原理の優位性」を発揮する案件を軸に世界へ技術提案を実施し、市場開拓

無振動
無騒音

省スペース

仮設レス

高精度施工

高い安全性

工期短縮・工費削減、CO₂削減

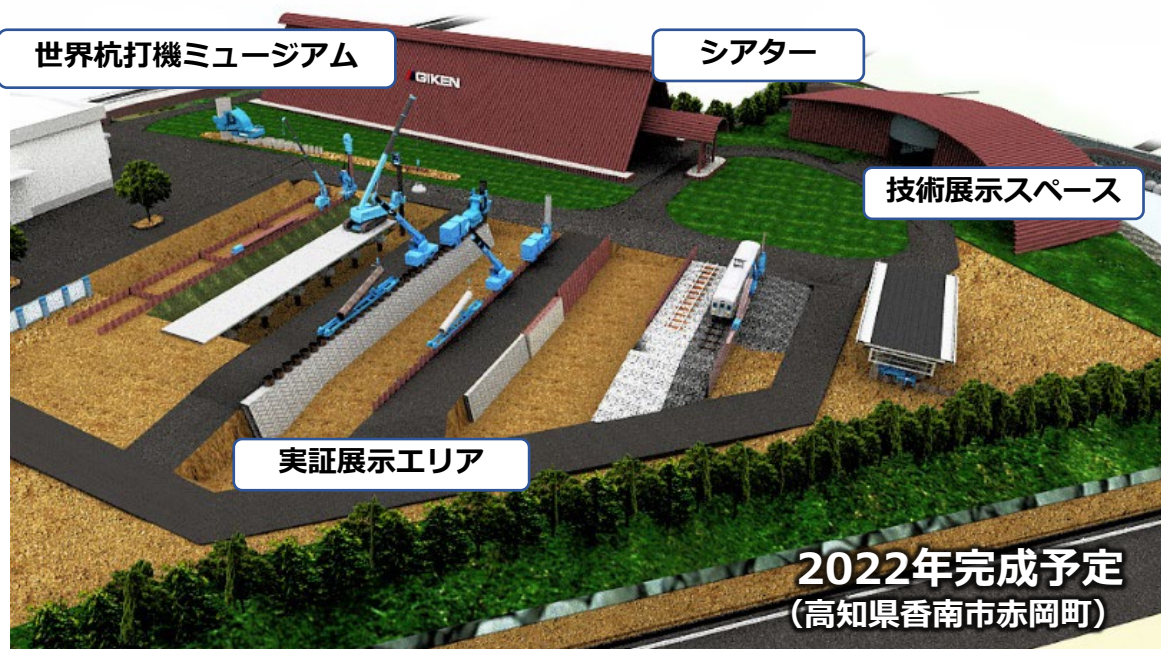
- ・施設供用開始を早める
- ・経済的効果が高い



①インプラント工法の技術提案に特化したグローバル展開

(3) 圧入原理の優位性を見てわかる提案へ進化

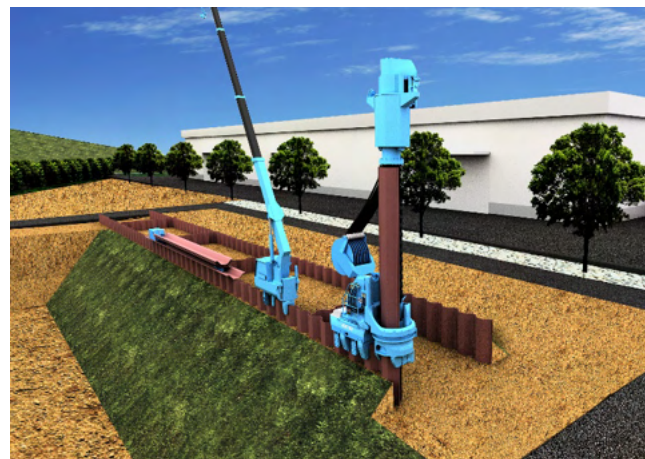
見て理解できる施設により、インプラント工法の普及拡大につなげる



圧入の実証可視化施設
「RED HILL 1967」
今年12月から一部供用開始予定



厳しい制約条件での橋脚補強技術



「決壊しない堤防」の実物を展示

②付加価値の高い工法・製品を開発し社会にソリューションを提供

(1) 付加価値による差別化 (1/2)

ICT施工の実現による進化した圧入工法の実施



■現場の自動化・無人化 — ICT施工技術の拡充・普及

NETIS登録済。市場投入し、実績拡大中

インプラントNAVI



圧入機に連動して杭の貫入深度や変位、傾斜を自動計測

PPTS®自動運転



自動運転モードで地盤情報を推定し、圧入力、圧入スピードを最適化

省人化施工

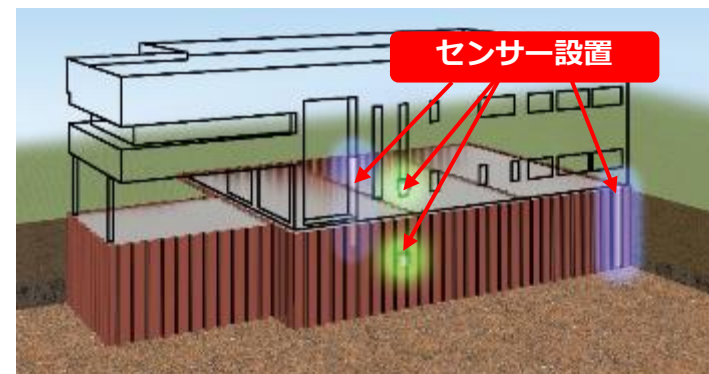
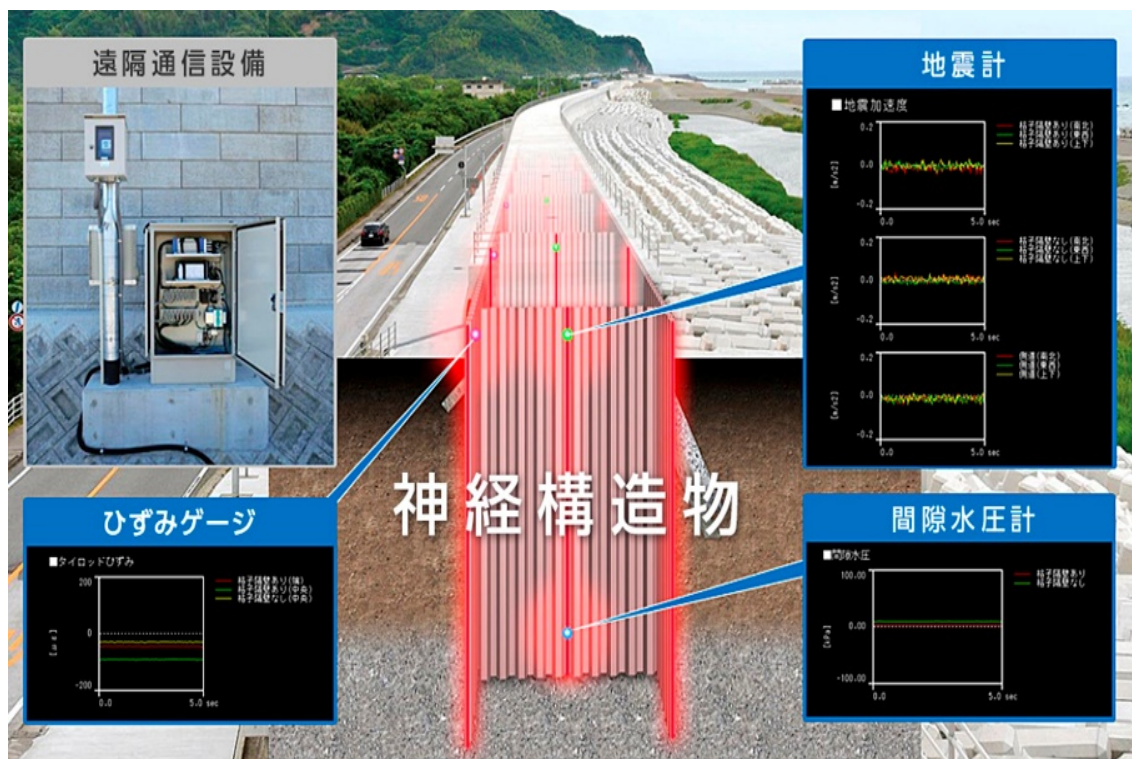


将来の無人化施工を目指し
リモート施工の実現へ

②付加価値の高い工法・製品を開発し社会にソリューションを提供

(1) 付加価値による差別化 (2/2)

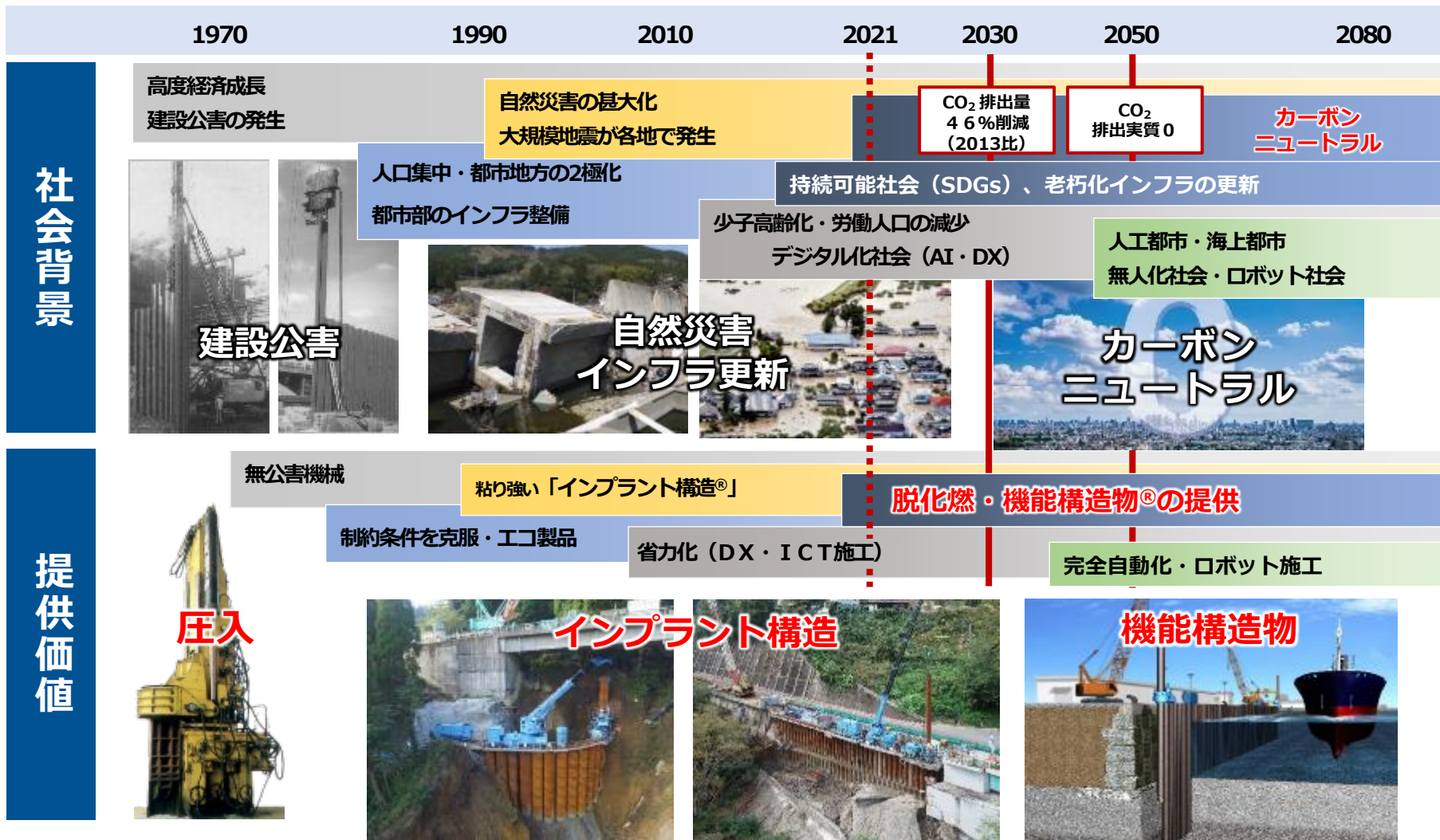
- 神経構造物 — 構造物が機能を発揮できているか数値で証明し、施設の将来の予防保全や維持管理につなげる。



建造物にも適用

開発型企业として、常に将来を見据えたソリューションを社会に提供し続ける

「公害対策企業」としての設立時から、環境問題への対策は当社の原点

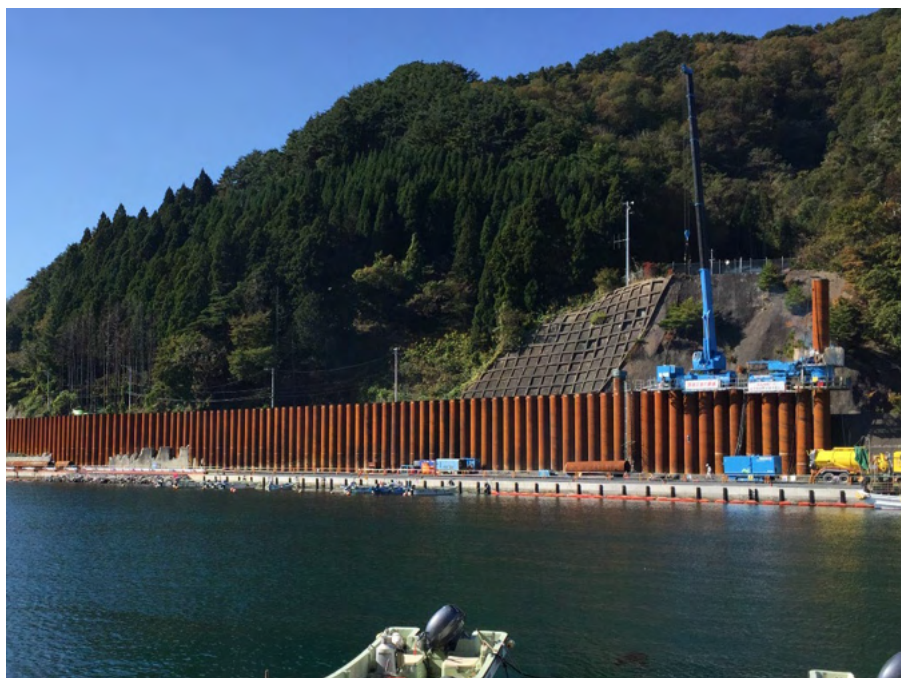


(1) 災害に強い強靱なインフラ構築

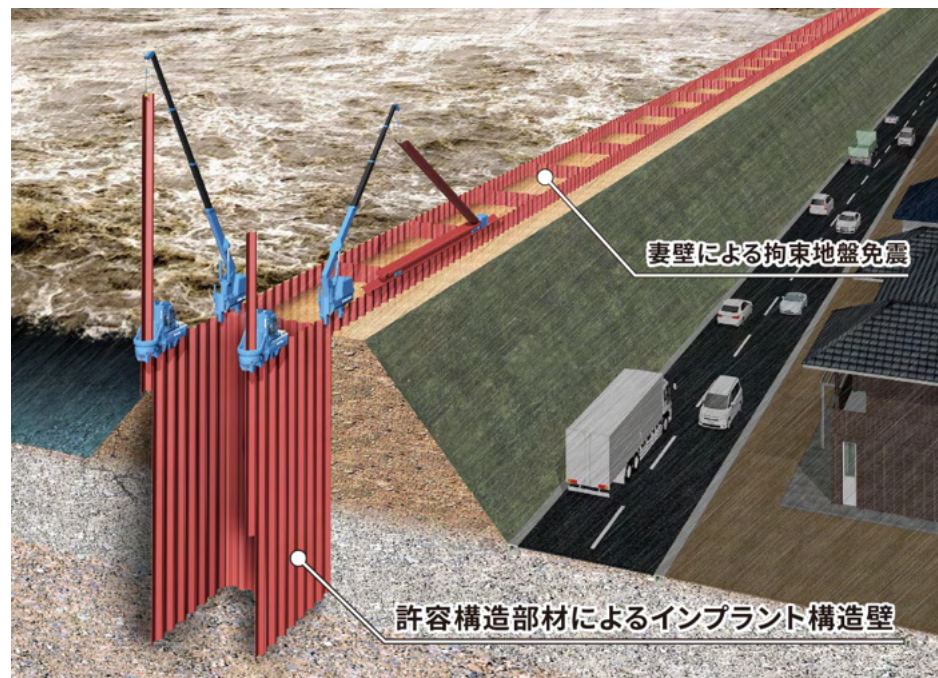
地震や津波、洪水にも粘り強く耐え、急速構築できるインプラント構造物の提案、普及を通じて強靱で持続可能なまちづくりに貢献する。



防災、減災工事への技術提案



「土堤原則」転換の挑戦



(2) 仮設レス施工

従来工法では必要な仮設工事（仮設材製造・運搬・設置撤去）が不要なため、**大幅なCO₂排出量の削減**が可能。



従来工法

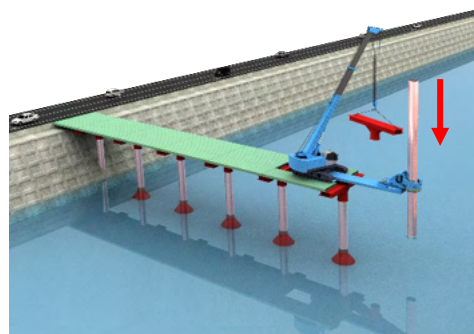


当社技術

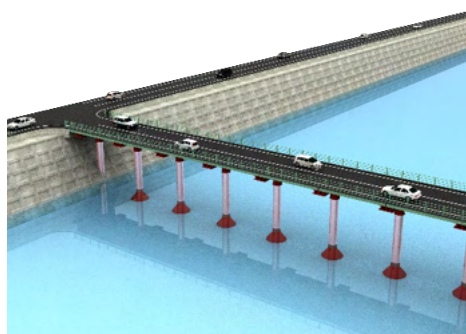


(3) 機能構造物の提供

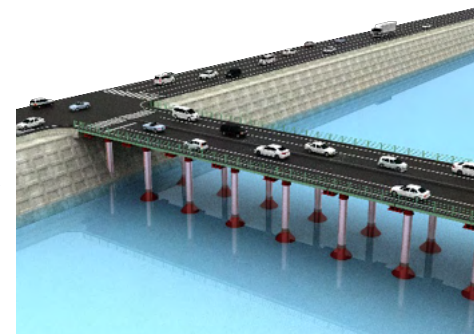
社会の変化に柔軟に対応する機能の見直し、部材の再利用を前提とした構造物を提供。



道路橋の建設

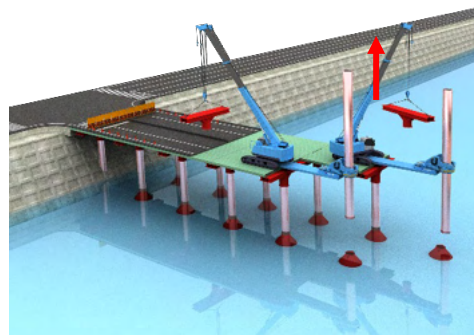


2車線の機能から

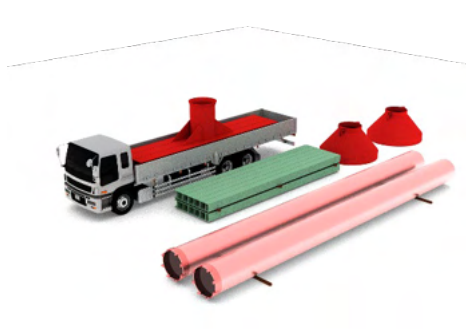


4車線の機能へ

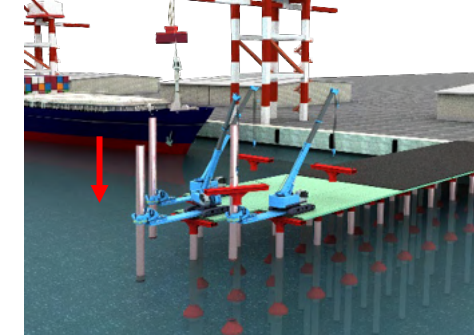
ニーズに応じて機能見直しが可能



機能を果たしたら撤去



部材は再利用

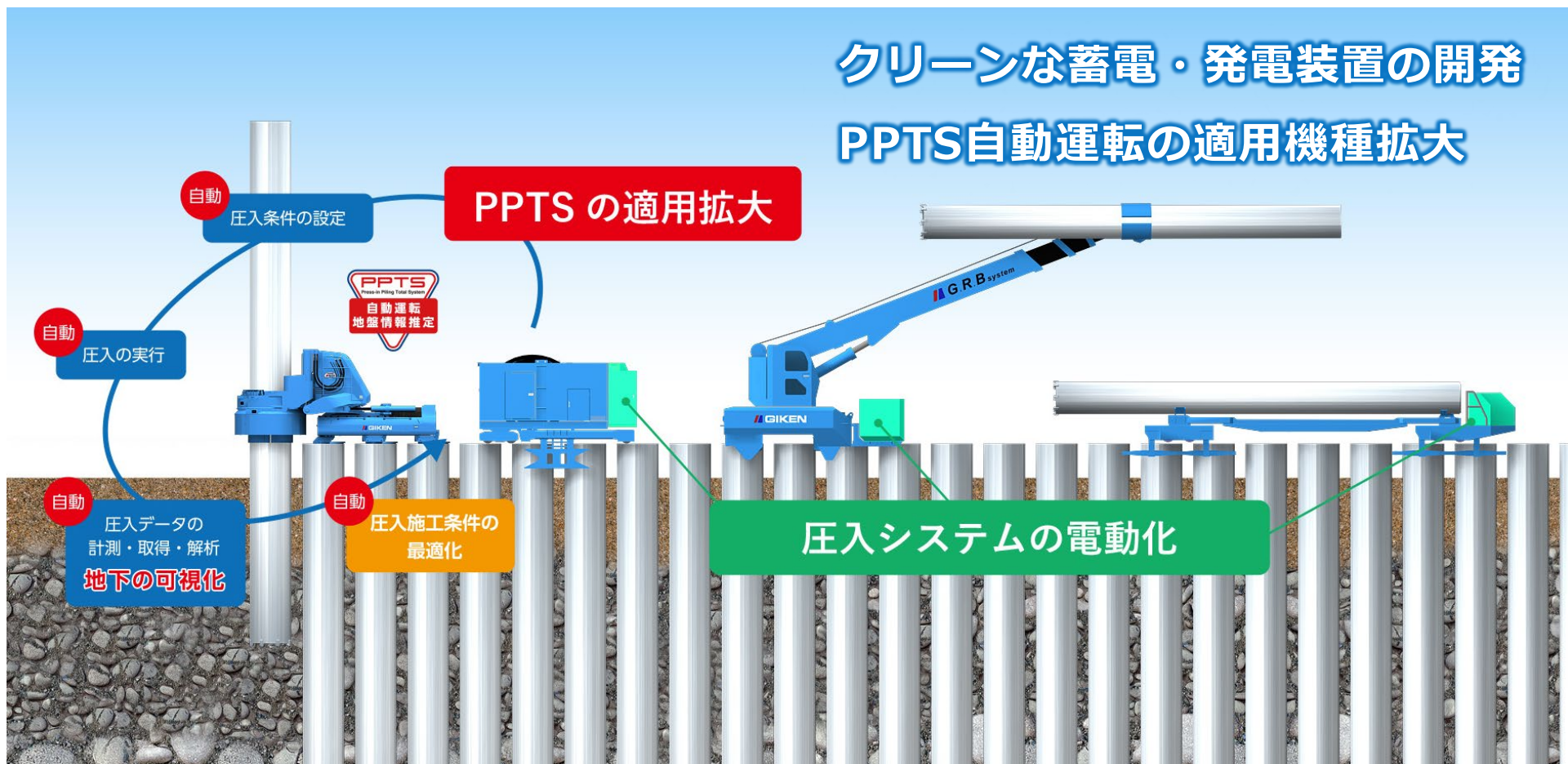


他の場所で転用

撤去後の部材を他の場所に転用可能

(4) 圧入システムの電動化・自動化

圧入機とシステム機器の電動化により脱化石燃料を図る。
また自動化により労働力不足を解消し生産性を向上させる。



(5) 生産体制の変更

必要なものを必要な分だけ生産する受注生産体制に移行し、資源利用を最小限に抑制する。



2021年から**受注生産体制**に移行
世界シェア9割のサイレントパイラー®だからこそ
「在庫をもたない販売」へ

GIKEN



在庫管理コスト（人、場所等）を見直し、
経営資源を新市場の創出・拡大に集中

↓
圧入業界をさらに発展

ステークホルダー

ビジネス機会拡大

企業価値の向上

ユーザー

株主

サプライヤー

社会

パートナー

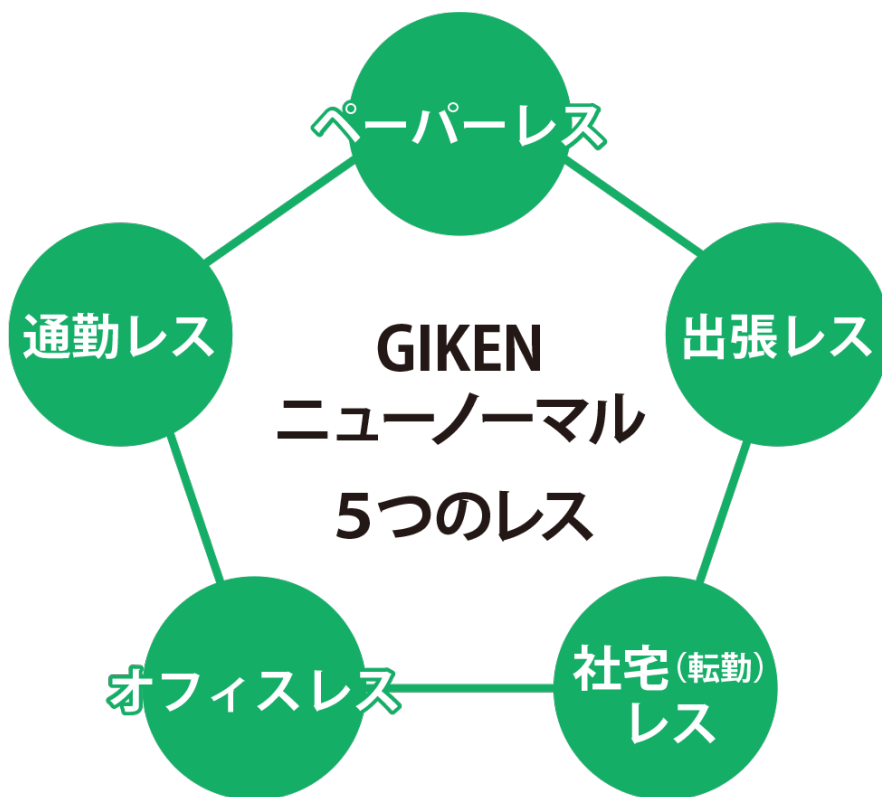
建設のあるべき姿実現

圧入業界拡大によるビジネス創出

↓
継続した利益を提供

(6) 賢い企業活動を徹底

GIKENのニューノーマルを徹底し、働き方の多様化を推進。
生産性・働きがいの向上につなげ、効率的な経営を実現。



ペーパーレス

資源の節約、コスト削減

出張レス

CO₂排出量・移動時間・交通費の削減

社宅(転勤)レス

ライフステージに応じた柔軟な働き方実現
人材流出リスクの低減

オフィスレス

エネルギー消費量・コストの削減

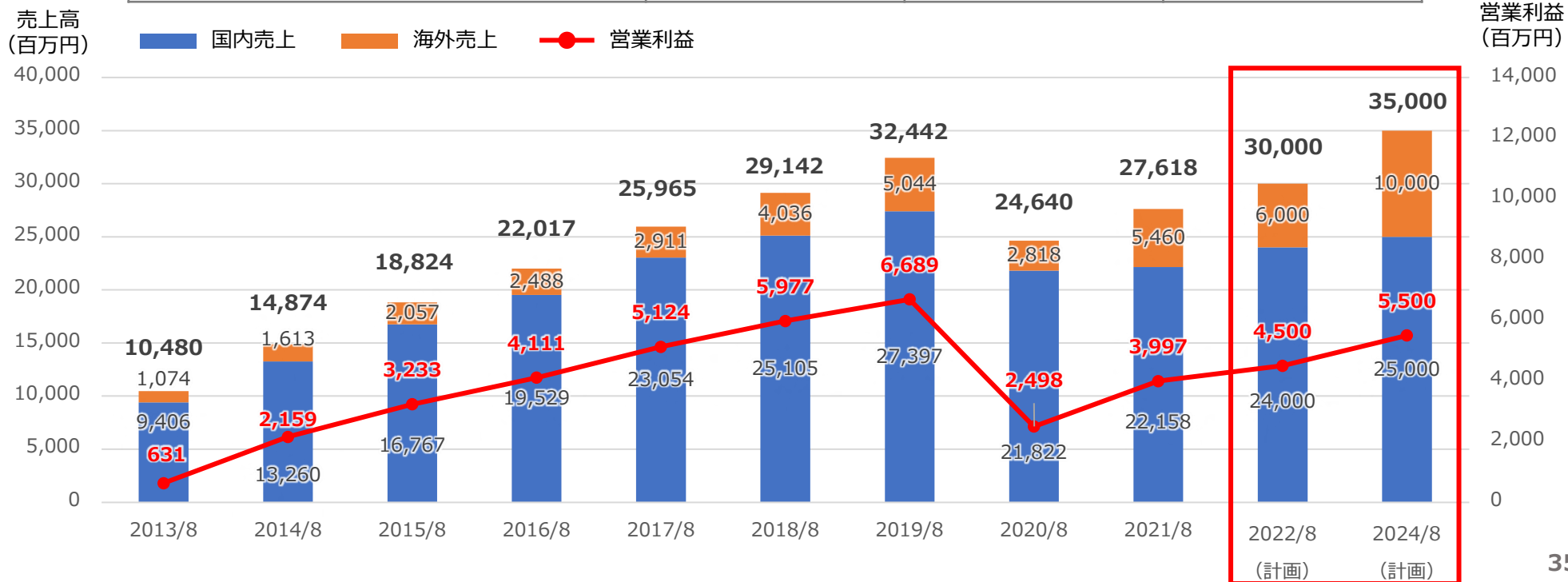
通勤レス

CO₂排出量・交通費の削減
通勤災害リスクの低減

① 連結 (国内海外別)

(単位：百万円)

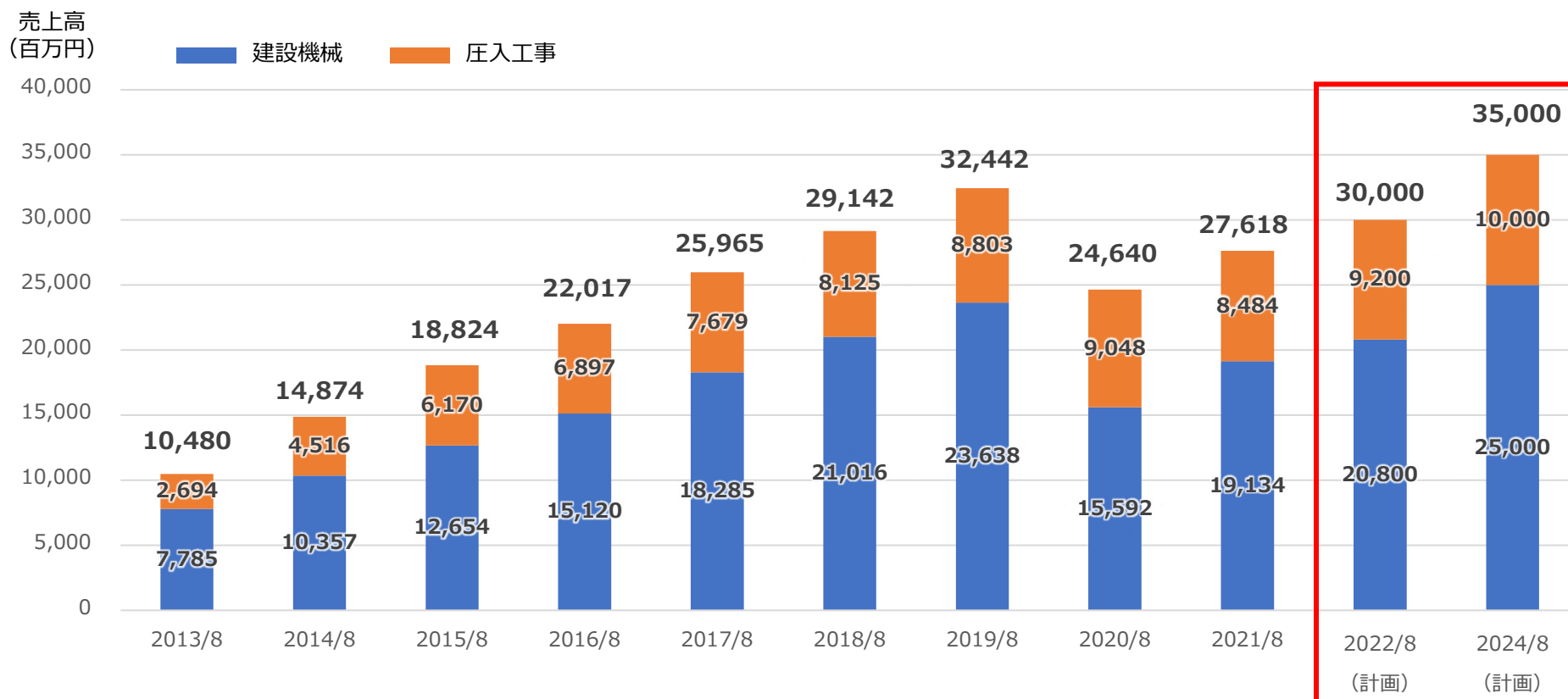
項目	2021年8月期 実績	2024年8月期 計画	増減率
売上高	27,618	35,000	26.7%
国内	22,158	25,000	12.8%
海外	5,460	10,000	83.1%
海外比率	19.8%	28.6%	—
営業利益	3,997	5,500	37.6%
売上高営業利益率	14.5%	15.7%	—



②連結 (事業セグメント別)

(単位：百万円)

項目	2021年8月期 実績	2024年8月期 計画	増減率
売上高	27,618	35,000	26.7%
建設機械	19,134	25,000	30.7%
圧入工事	8,484	10,000	17.9%



インプラント工法で世界の建設を変える



GIKEN

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



2021年8月期 決算概要

株式会社 技研製作所

〈証券コード:6289〉

(1) 建設機械事業

- ・首都圏の再開発、大阪万博にともなう近畿圏の再開発など民間開発が進む。顧客の設備投資意欲が回復基調であり、400mm幅U形鋼矢板用圧入機などの一般機は、入れ替え需要による販売が増加。
- ・国内の公共土木工事において、本設工事に用いる杭材が600mm幅U型鋼矢板から900mm幅ハット形鋼矢板へ移行。その杭材に適合したサイレントパイラー F 301-900の販売が堅調に推移。

(2) 圧入工事事業

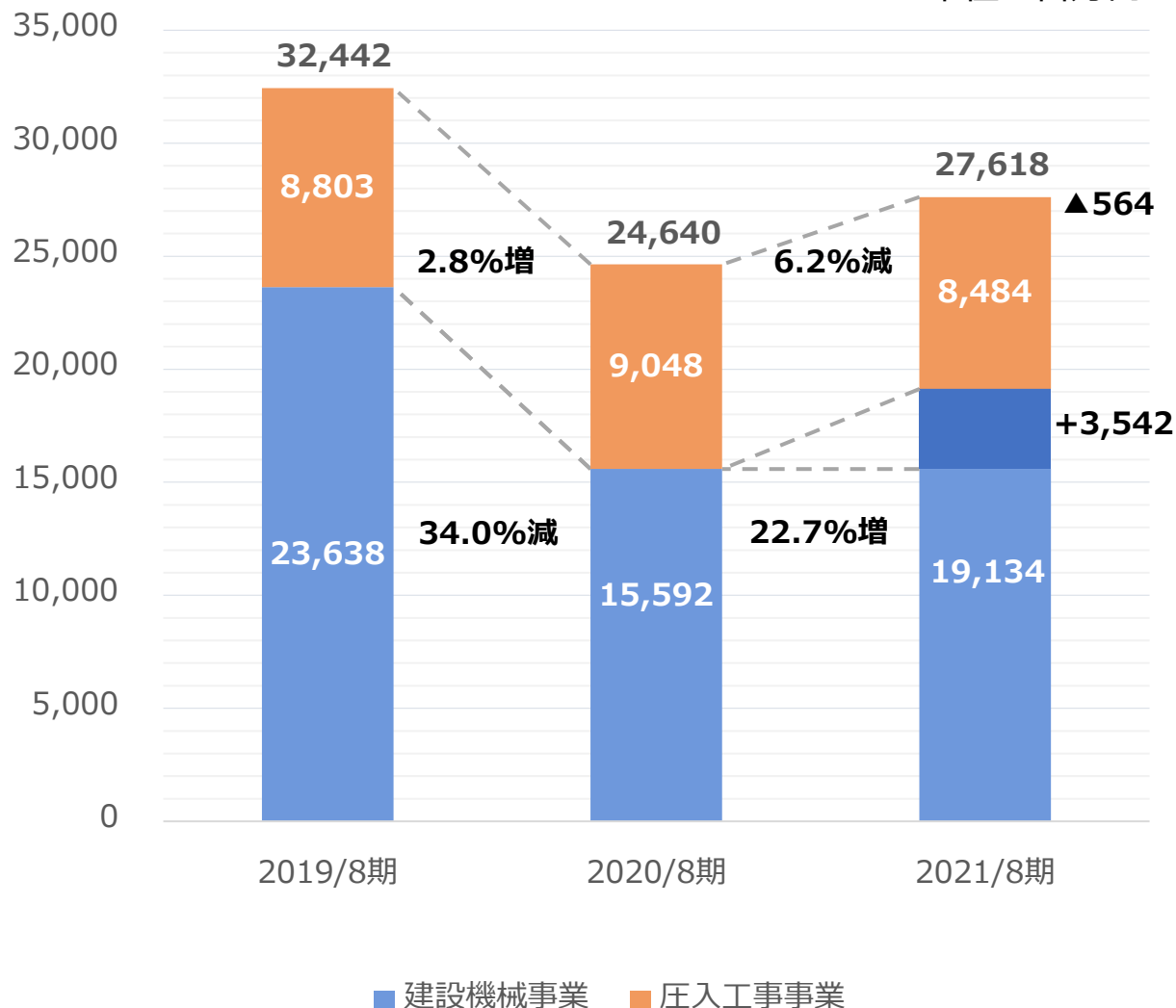
- ・海外ではセネガル・ダカール港での岸壁改修工事(ODA)が新型コロナウイルス感染拡大で中断していたが約1年遅れで再開し、3月完工。
- ・東日本大震災からの復興事業や南海トラフ地震対策の工事が一段落したこともあり、大型工事が減少。

単位：百万円

	2019/8期	2020/8期		2021/8期	
				前年比	前年比
売上高	32,442	24,640	▲24.0%	27,618	+12.1%
営業利益	6,689	2,498	▲62.6%	3,997	+59.9%
経常利益	6,761	2,792	▲58.7%	4,161	+49.0%
当期純利益※	4,571	1,400	▲69.4%	3,073	+119.4%
1株純利益	168.80	51.28	▲69.6%	112.22	+118.8%
ROE	12.7%	3.7%	▲9.0pts	8.0%	+4.3pts

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



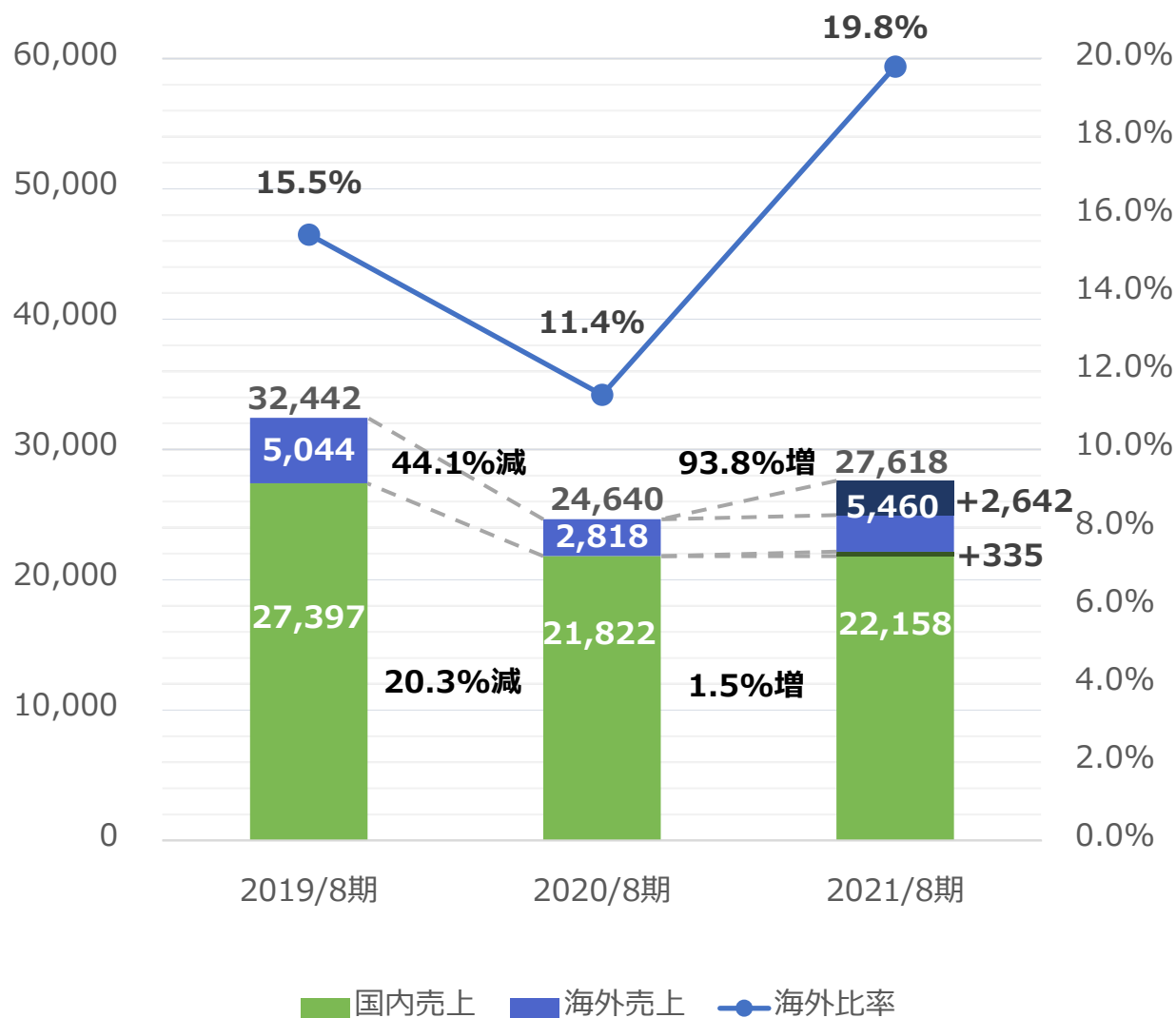
◇建設機械事業 3,542百万円増

- ・ 入れ替え需要により一般機の販売が増加。
- ・ 900mm幅ハット形鋼矢板に適合したF301-900の販売が増加。

◇圧入工事業 564百万円減

東日本大震災からの復興事業や南海トラフ地震対策の工事が一段落したこともあり大型工事が減少。

単位：百万円



◇国内売上
335百万円増
 製品販売が増加。

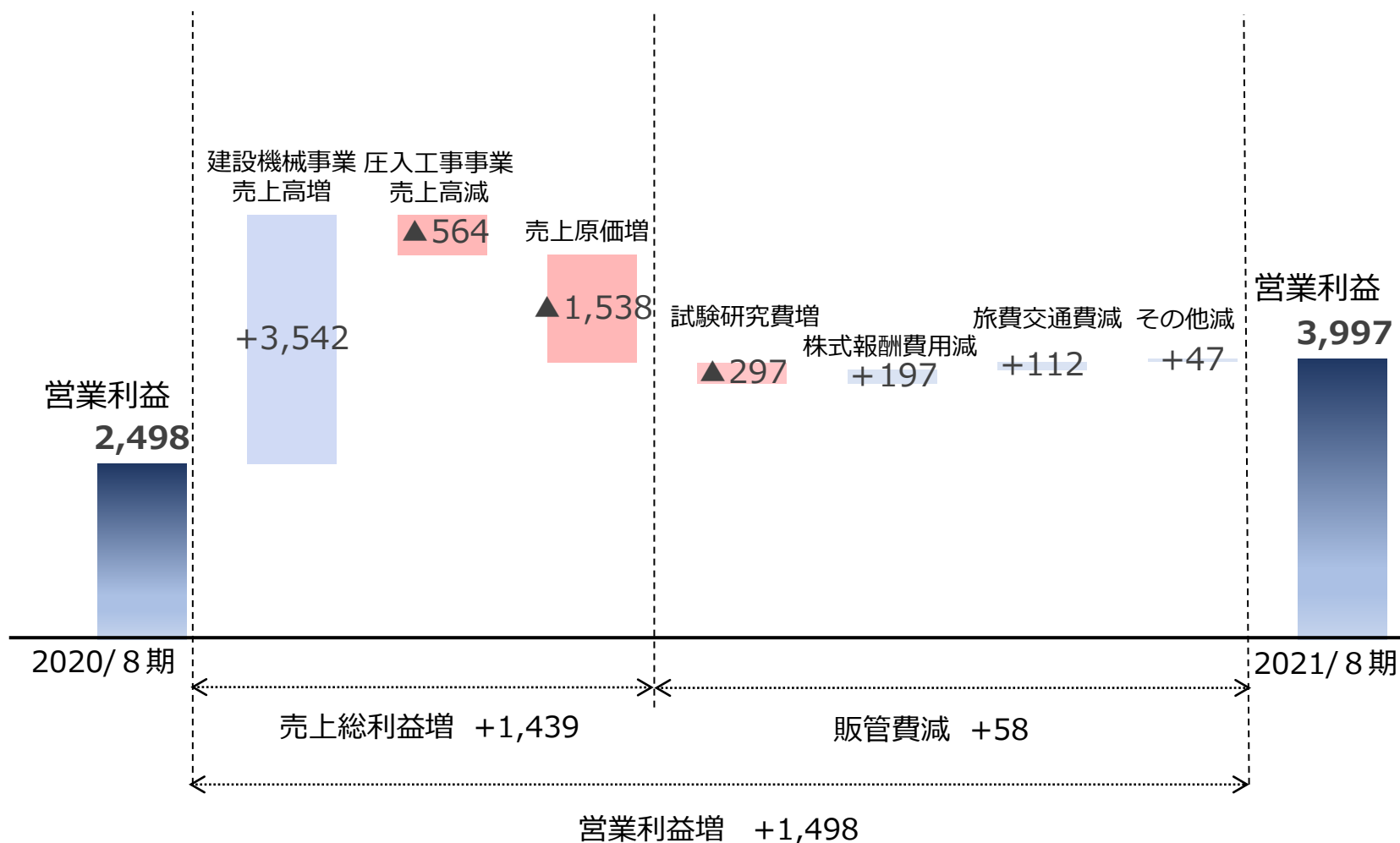
◇海外売上
2,642百万円増

- ・ブラジル向けに大型特殊機の販売。
- ・オーストラリアでの圧入工事売上増加。
- ・セネガル工事の再開、完工。

決算概要 - 営業利益増減



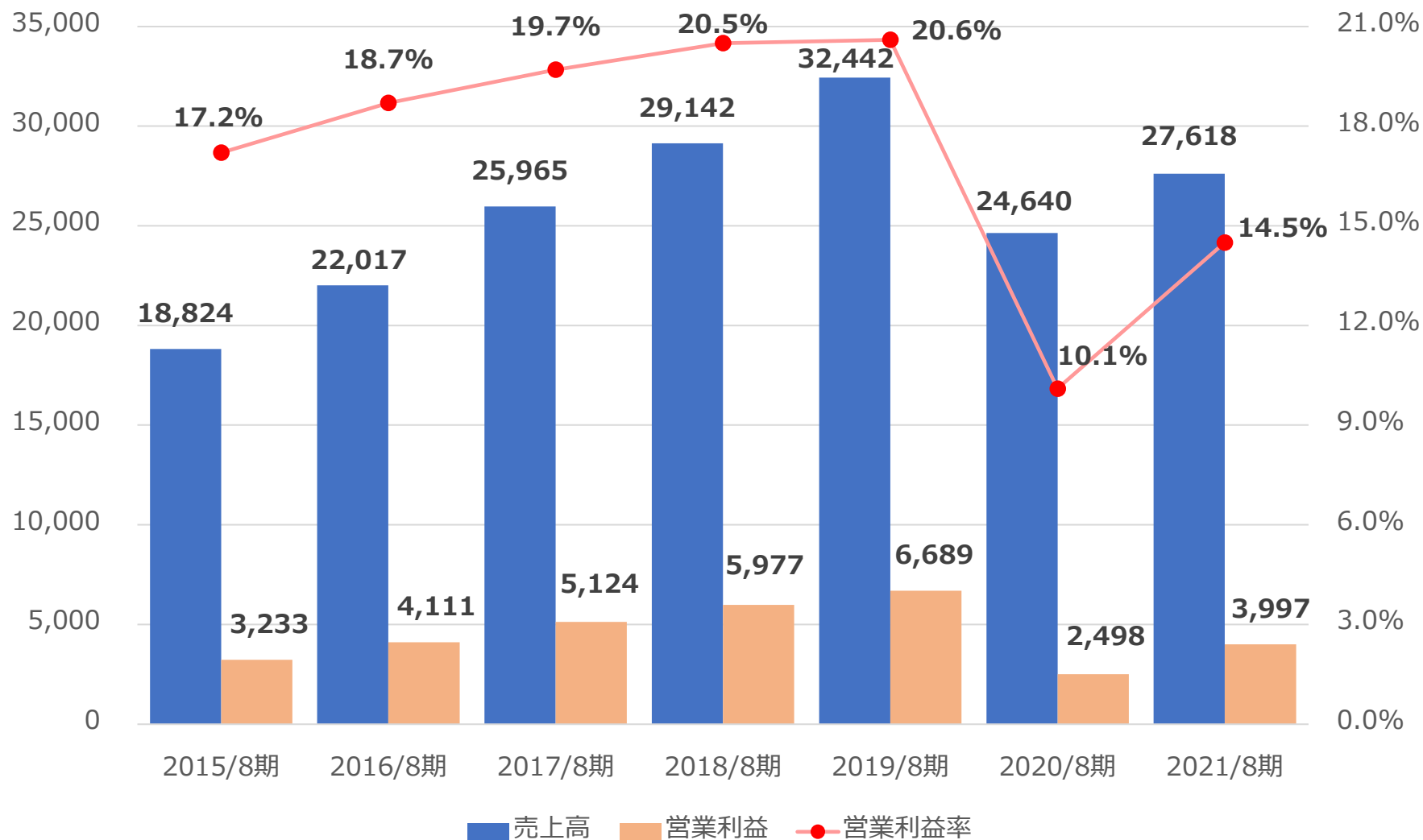
単位：百万円



決算概要 – 営業利益率推移



単位：百万円



決算概要 – 建設機械事業 区分別売上



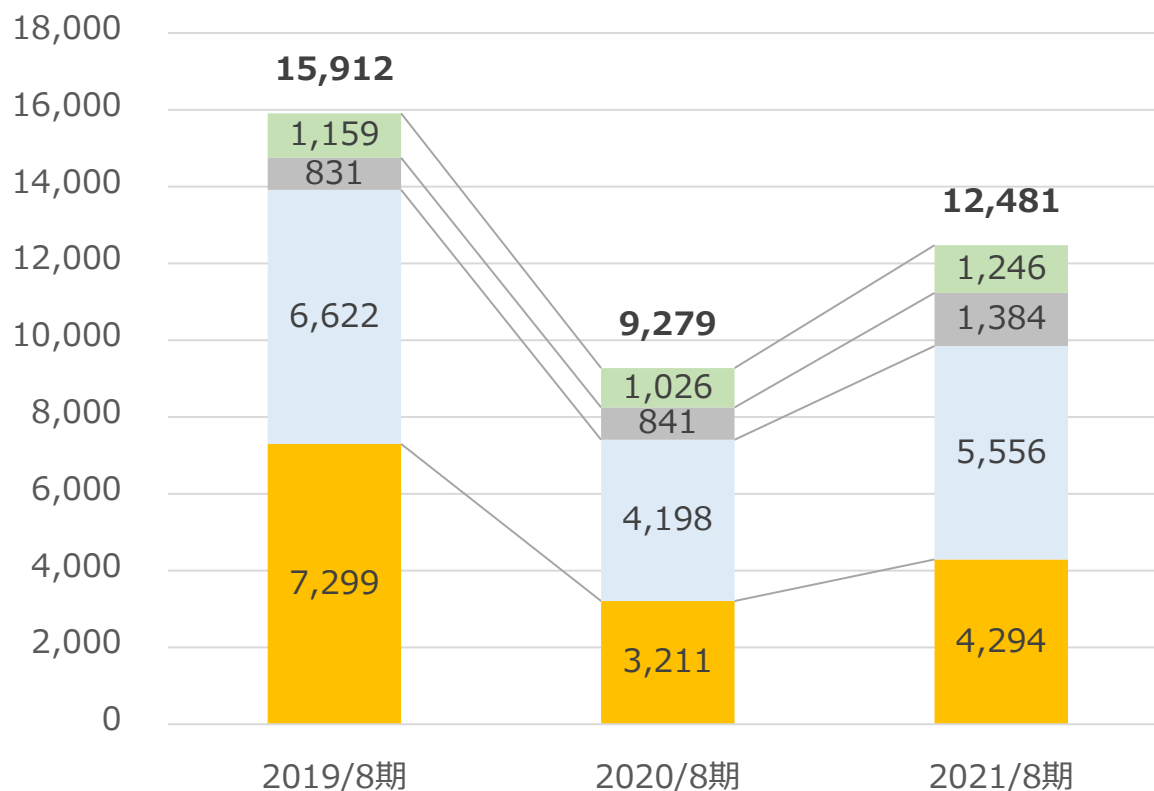
単位：百万円



- ・ 民間開発の増加により顧客の設備投資意欲が回復し、製品販売が増加。
- ・ 市場での稼働台数の増加にともない、保守・部品売上は堅調に推移。

製品区分別出荷額推移

単位：百万円



■ 一般機 ■ 大型特殊機 ■ 特殊機 ■ その他

特殊機

超低空頭対応圧入機
ゼロ矢板圧入機
GRBシステム など

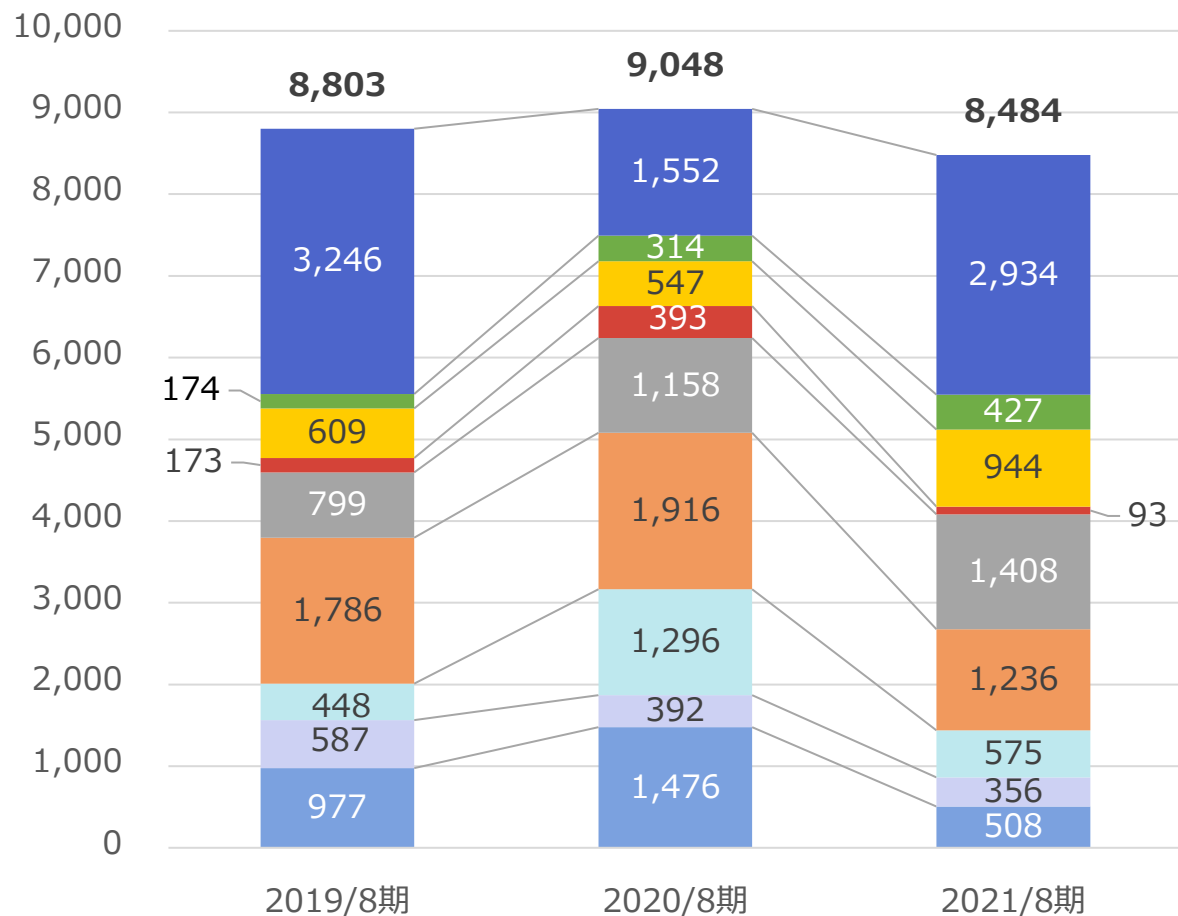
大型特殊機

900mm幅ハット形鋼矢板対応機
回転切削圧入機（ジャイロ）
鋼管圧入機 など

一般機

400mm幅U形鋼矢板対応機
など

単位：百万円



■ 四国 ■ 九州 ■ 近畿 ■ 関東 ■ 東北 ■ 北海道 ■ 中部 ■ その他国内 ■ 海外

国内売上の減少

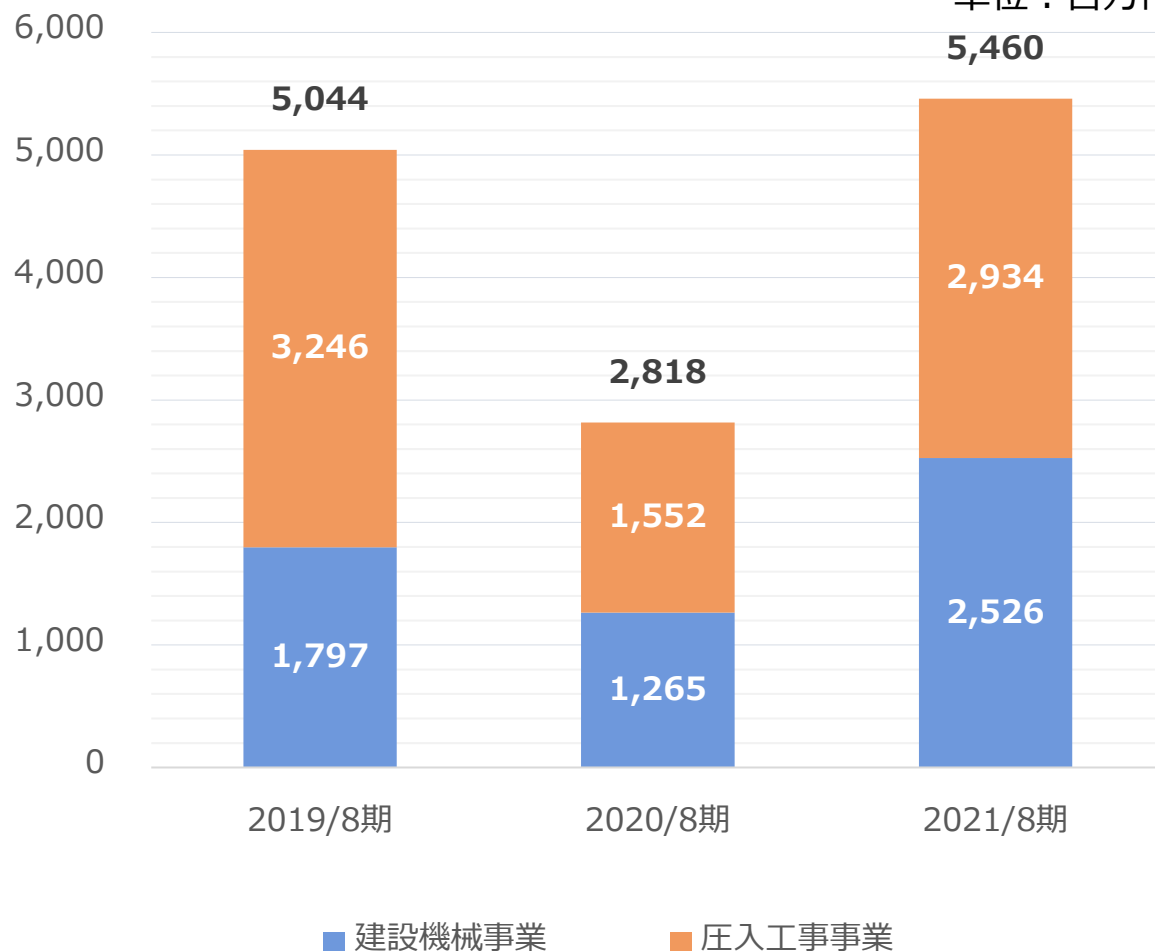
- 防災・減災工事や災害復旧工事でインプラント工法の採用が広がるも、四国、近畿の海岸堤防補強、関東での河川・護岸の改修といった大型工事の減少により減収。

海外売上の増加

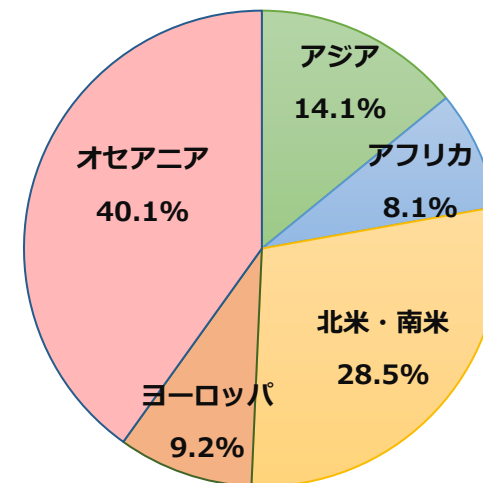
- セネガル共和国ダカール港での岸壁改修工事の再開、完工。
- オセアニア地域での売上増加。

セグメント別海外売上高

単位：百万円



海外売上高分布率



決算概要 – 連結貸借対照表



単位：百万円

科目	2020/8期末	2021/8期末	前期増減額
資産の部			
流動資産	25,477	26,907	1,430
固定資産	24,231	24,759	527
資産合計	49,708	51,667	1,958
負債の部			
流動負債	9,493	10,527	1,033
固定負債	1,803	1,594	▲209
負債合計	11,297	12,122	824
純資産の部			
株主資本合計	37,999	39,253	1,254
その他の包括利益累計額合計	▲447	▲145	302
新株予約権	503	0	▲503
非支配株主持分	355	435	79
純資産合計	38,411	39,544	1,133
負債純資産合計	49,708	51,667	1,958

現金及び預金の増加
3,707百万円
たな卸資産の減少
▲3,016百万円

前受金の増加
909百万円

決算概要－連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

区分	2020/8期	2021/8期	前期増減額
営業CF	3,263	7,768	4,505
投資CF	▲1,892	▲5,337	▲3,444
財務CF	▲953	▲2,197	▲1,243
現金等 期首残高	4,920	5,324	403
現金等 期末残高	5,324	5,666	342

◇営業CF

前期増減額 **+4,505百万円**

- ・税金等調整前当期純利益、棚卸資産の減少により、営業CFは増加

◇投資CF

2021/8期 **▲5,337百万円**

- ・定期預金の預入による支出▲3,356百万円
- ・有形固定資産の取得による支出
▲2,080百万円

◇財務CF

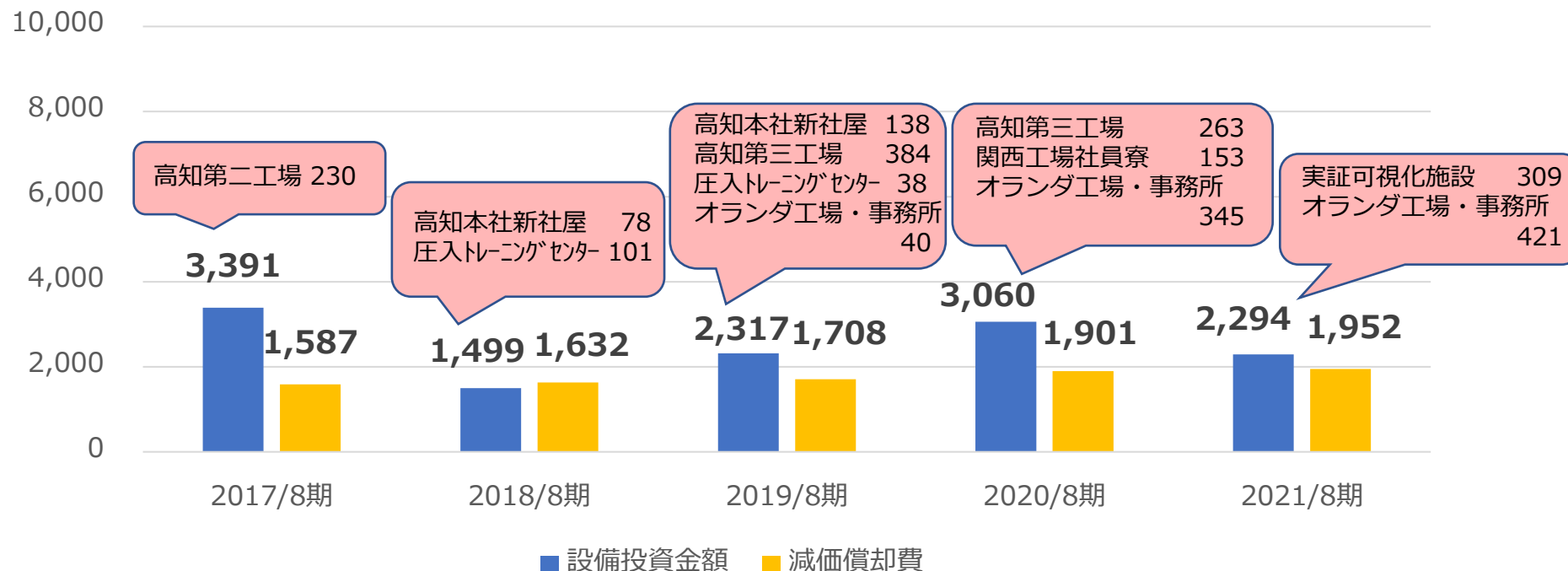
2021/8期 **▲2,197百万円**

- ・配当金の支払額 **▲1,914百万円**
- ・短期借入金の減少 **▲170百万円**
- ・長期借入金の返済 **▲140百万円**

決算概要 – 設備投資の推移



単位：百万円



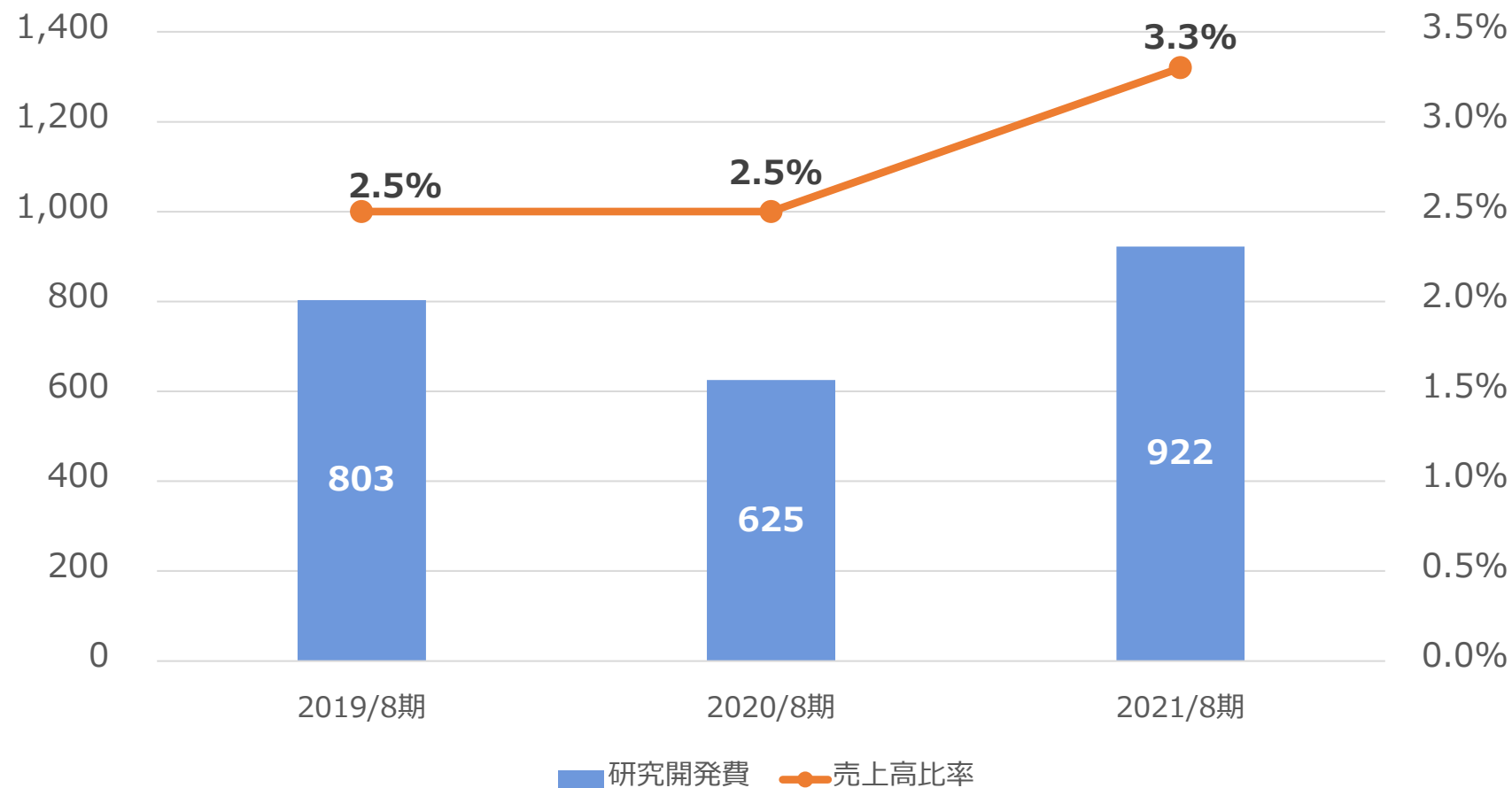
設備投資内訳

	2017/8期	2018/8期	2019/8期	2020/8期	2021/8期
レンタル・デモ用機械	2,485	707	996	1,501	1,220
事務所、工場等施設	235	229	602	1,004	739
その他	671	563	719	555	335
合計	3,391	1,499	2,317	3,060	2,294

決算概要 – 研究開発費の推移



単位：百万円



2022年8月期 業績予想

単位：百万円

	2021/8期 実績	2022/8期予想			
		上期予想	下期予想	通期予想	前年比
売上高	27,618	14,000	16,000	30,000	+8.6%
営業利益	3,997	2,270	2,230	4,500	+12.6%
経常利益	4,161	2,300	2,250	4,550	+9.3%
当期純利益 [※]	3,073	1,500	1,700	3,200	+4.1%
1株純利益	112.22円	54.70円	61.99円	116.69円	+4.0%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

(1) 国内展開

◎インプラント工法の採用拡大

- 河川事業、急傾斜地防災、道路防災、高速道路リニューアル、港湾整備事業、ため池の耐震化対策、民間プラントの液状化対策など、インプラント工法の採用拡大

◎顧客の設備投資意欲の回復

- 防災・減災、国土強靱化施策を中心にインフラ整備など公共工事は底堅く推移
- 首都圏の再開発、大阪万博にともなう近畿圏の再開発、企業による事前防災など民間工事の増加

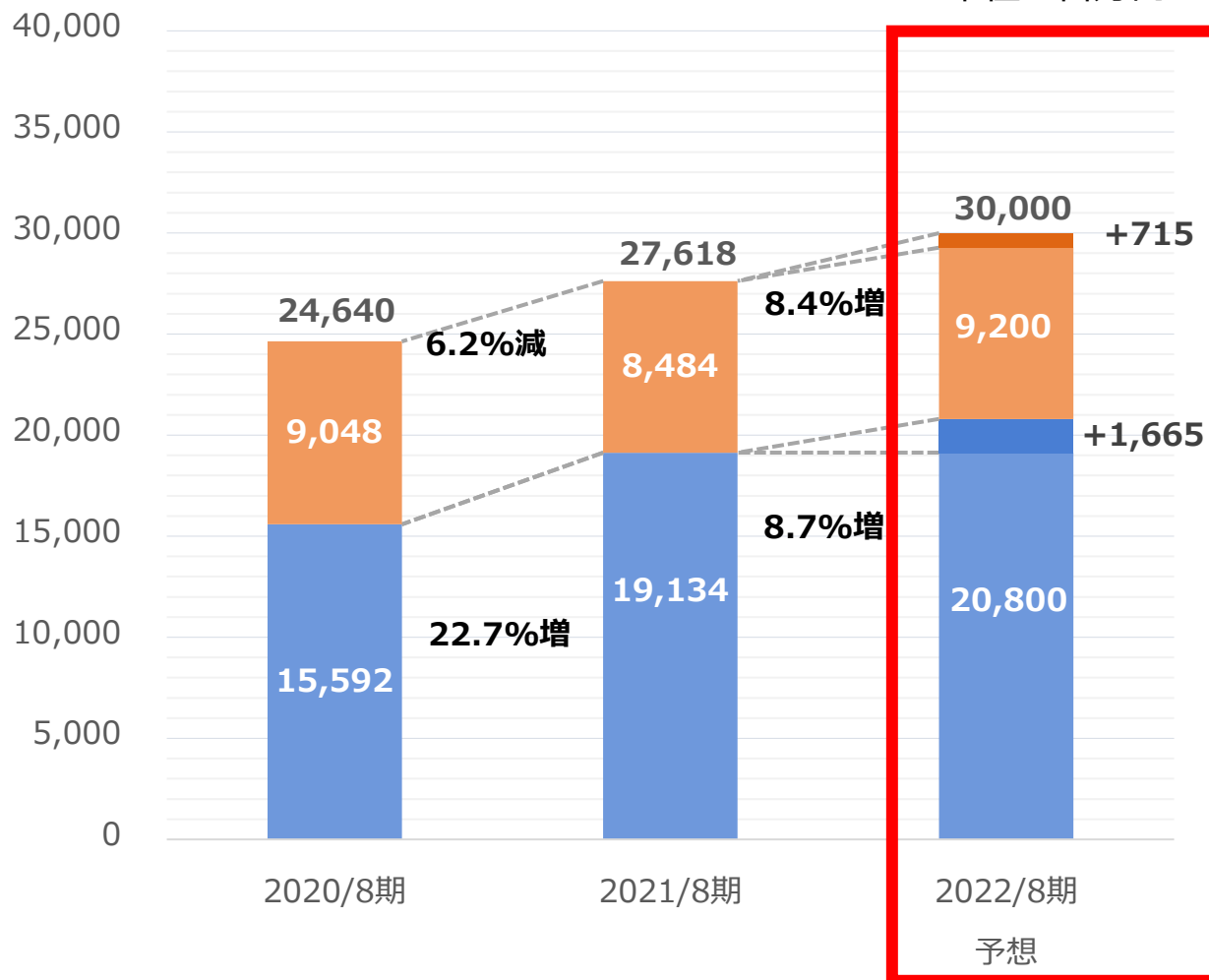
(2) 海外展開

◎パッケージで工法を提案、世界市場で工法普及を加速

- オランダアムステルダム市の運河護岸改修工事において2022年1月パイロット施工開始
- ブラジル鉾滓ダム防災対策工事に向け、現地企業への工法提案を強化
- オーストラリアでの大型工事案件の本格化

業績予想－セグメント別売上推移

単位：百万円



■ 建設機械事業 ■ 圧入工事業

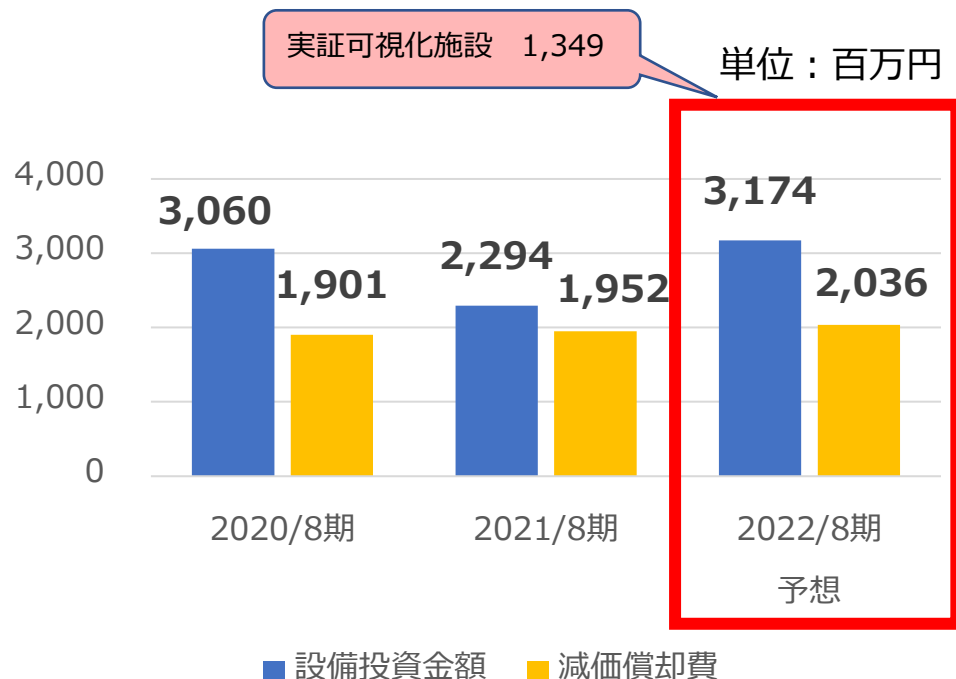
◇ 建設機械事業 1,665百万円増

国内外でのインプラント工法の採用拡大によって圧入機の販売が増加見込み。

◇ 圧入工事業 715百万円増

インプラント工法の受注が堅調に推移。

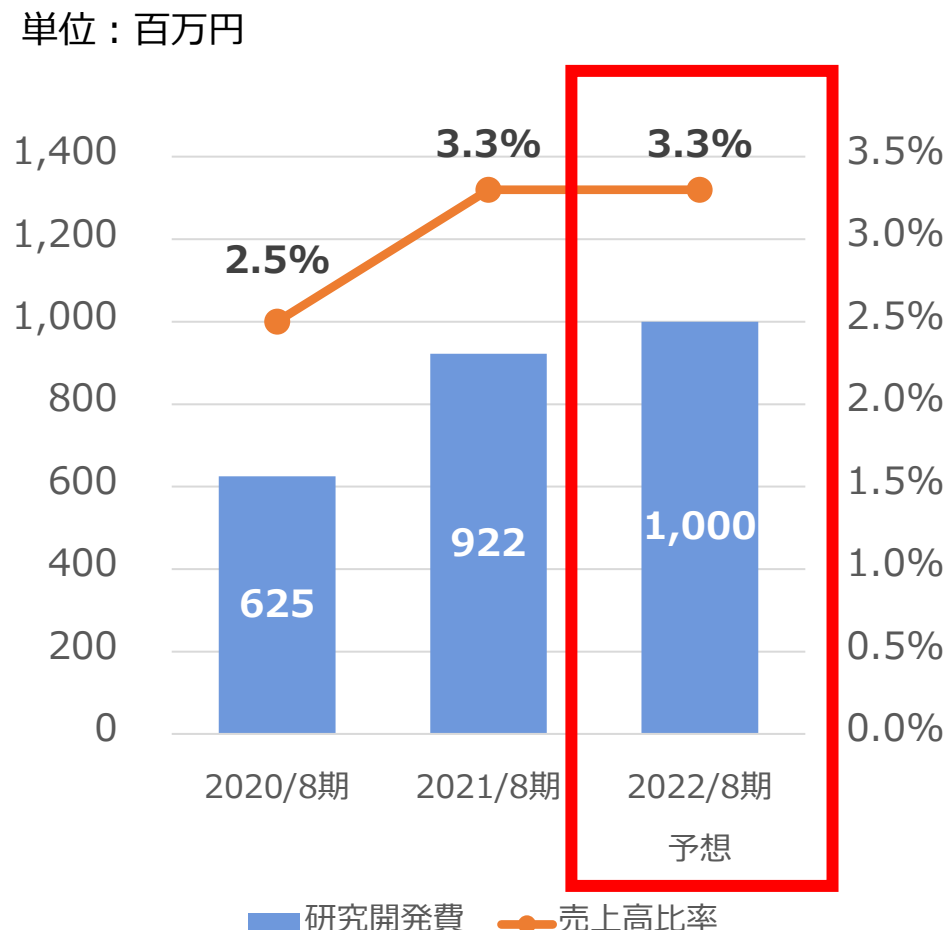
◎ 設備投資、減価償却費



設備投資内訳

	2020/8期	2021/8期	2022/8期 予想
レンタル・デモ用機械	1,501	1,220	1,338
事務所、工場等施設	1,004	739	1,494
その他	555	335	342
合計	3,060	2,294	3,174

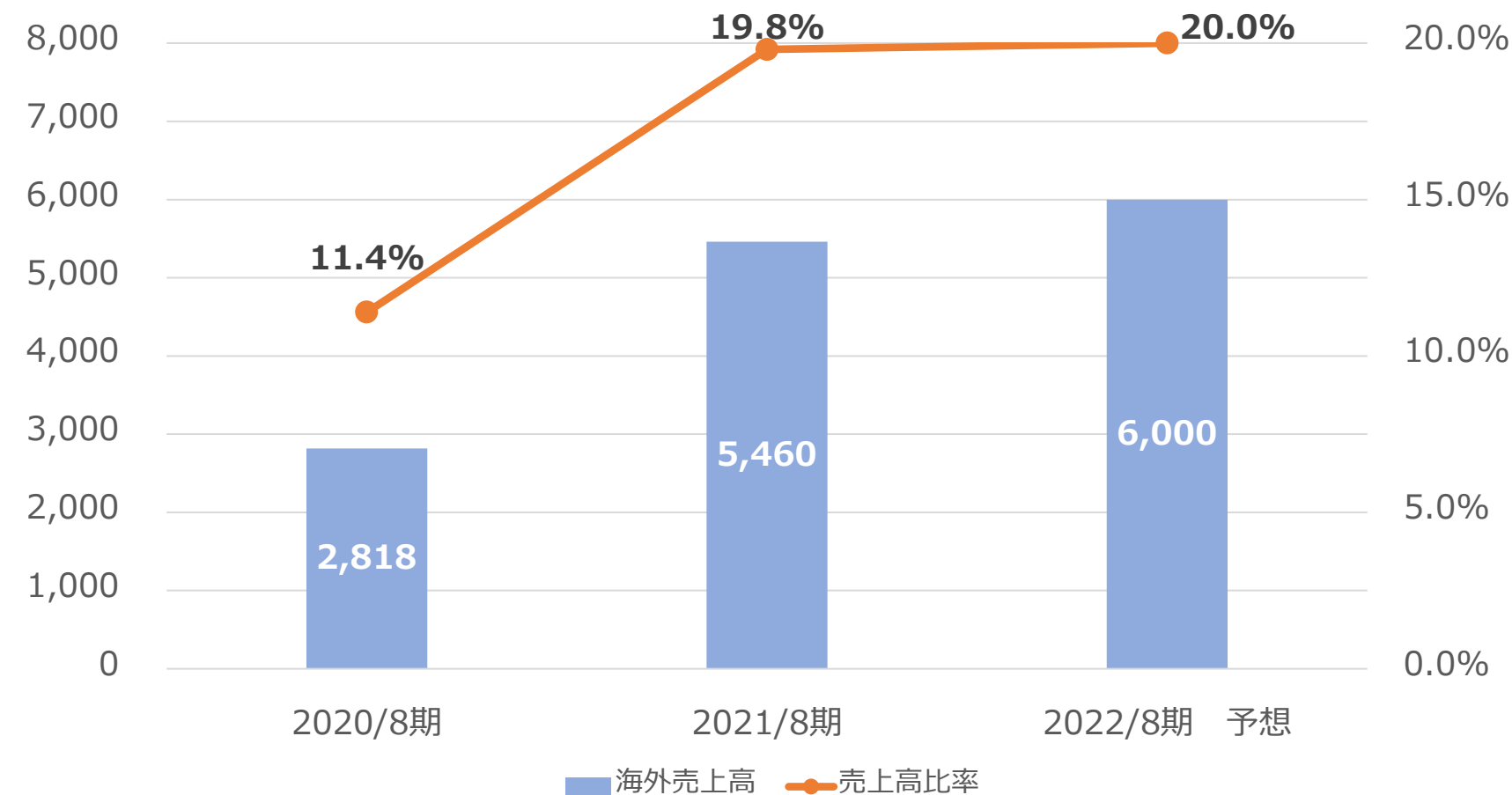
◎ 研究開発費



業績予想 – 海外売上の推移



単位：百万円

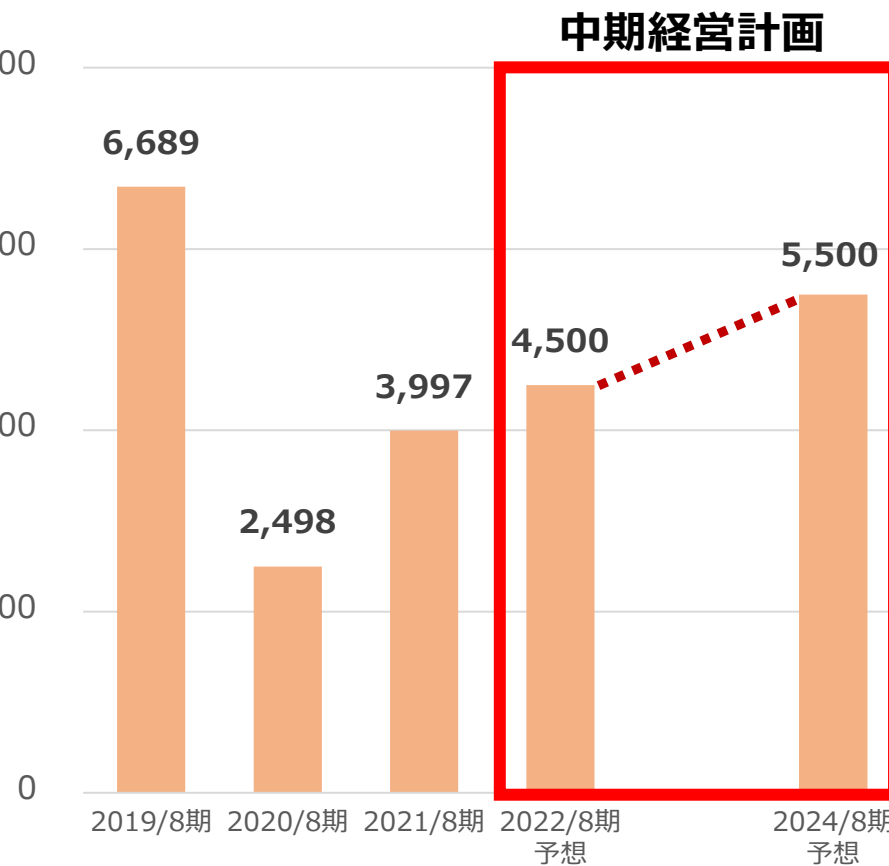
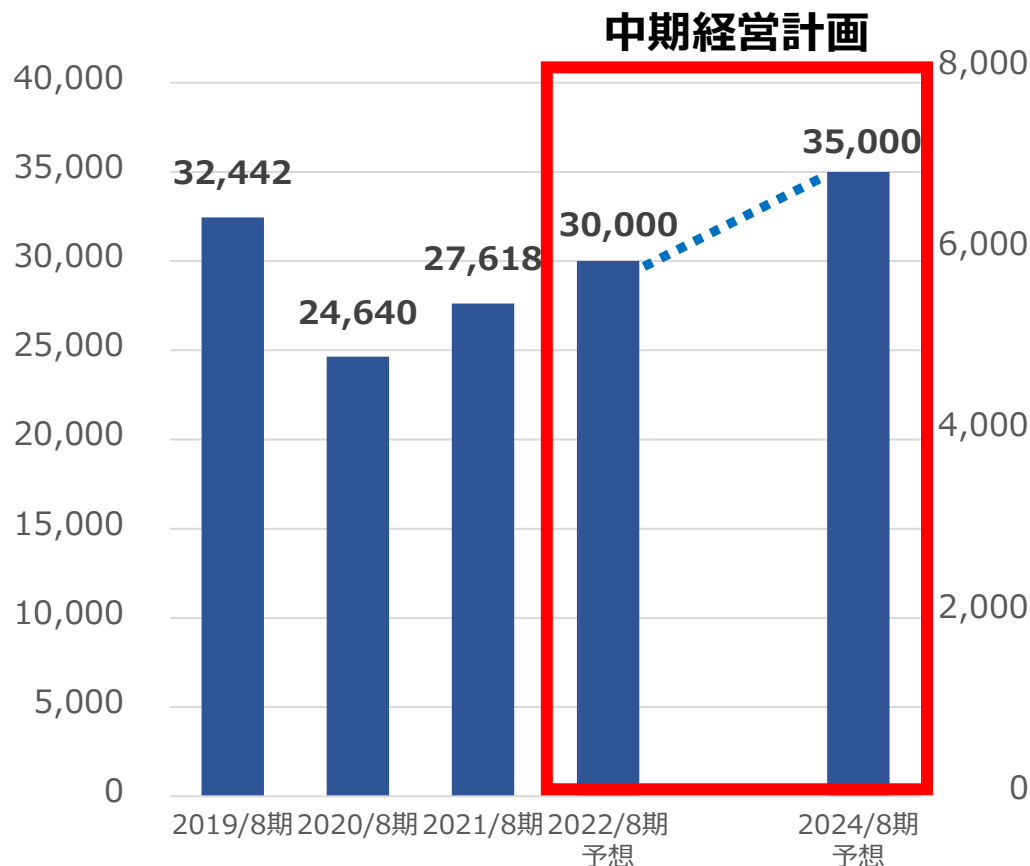


【売上高】

単位：百万円

【営業利益】

単位：百万円



• 売上高 過去最高売上

• 営業利益率 15.7%

将来の事業拡大(10年後 1,000億円)に向け研究開発投資および人材投資を積極的に実施
研究開発では、電動化、自動化、急速施工関連が増加

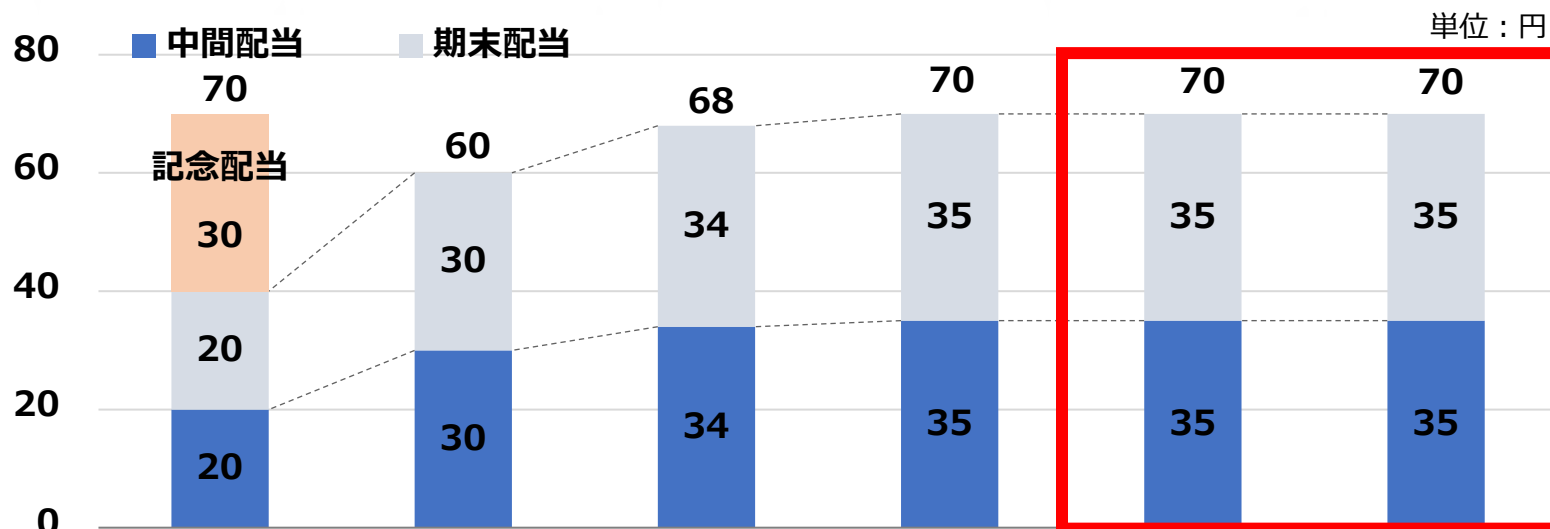
株主還元

2021/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円 (実績)
 期末配当金 …普通配当 35円 (予想)

2022/8期

第2四半期配当金…普通配当 35円
 期末配当金 …普通配当 35円



	2017/8期	2018/8期	2019/8期	2020/8期	2021/8期	2022/8期予想
当期純利益 (百万円)	3,671	4,151	4,571	1,400	3,073	3,200
1株当たり純利益 (円)	146.35	155.75	168.80	51.28	112.22	116.69
配当性向 (%)	47.8	38.5	40.3	136.5	62.4	60.0
純資産配当率 (%)	3.5	5.7	4.8	5.1	5.0	4.8

※2017/8期 第2四半期配当金…普通配当 20円 記念配当10円 (創業50周年記念配当)
 期末配当金 …普通配当 20円 記念配当20円 (東証第一部上場記念配当)